vertebr / 椎 /

* + 選定理由: 「椎」は「椎骨（＝脊椎を構成する個々の骨）」を指す字であり、エスペラント語根 “vertebr” の意味（脊椎・椎骨）に比較的忠実。
  + 学習コスト: 「月（肉）」「骨」など他の偏旁との組み合わせではなく、木偏+“隹”の形だが、脊椎・椎骨を直接イメージできる字として採用。

1. artik / 节 /
   * 選定理由: 中国語の「关节（関節）」を一字に絞れば「节」が「節」(日本語の旧字)にあたり、「関節」の“節”部分を表している。
   * 学習コスト: 「关节」を2字で割り当てる方法もあるが、できるだけ簡略化のため「节」に集約。すでに日本語の「節」に近く、連想しやすい。
2. tenden / 腱 /
   * 選定理由: 「腱」は腱（けん）を直接指す標準的な字。
   * 学習コスト: 肉月偏+“建”という構成でやや画数は多いが、腱を正確に表す単字はほぼ「腱」しかない。
3. medol / 髓 /
   * 選定理由: 骨髓(骨髄)や脊髓(脊髄)など「髓」は「髄」の簡体字表記。骨の内部や髄質のイメージに忠実。
   * 学習コスト: 画数は多めだが、他の部位との重複を避けつつ的確に「髄」を表現できる単字はこれ。
4. ost / 骨 /
   * 選定理由: 文字通り「骨」を表す、最も基本的かつ画数の比較的少ない字。
   * 学習コスト: 今後も骨関連で再三登場するので、学習コストはむしろ下げられる（「骨」を使い回す）。
5. skelet / 骨骼 /
   * 選定理由: 中国語で「骨骼 (骨格)」は「スケルトン・骨格」を示す標準表現。単字では適切なものが無いため2字熟語。
   * 学習コスト: 「骨」を流用し、新たに「骼」(骨+各)を導入。
6. rip / 肋 /
   * 選定理由: 「肋 (肋骨)」はろっ骨を指す単字。「肋骨」を2字にせずとも「肋」で骨を連想しやすい。
   * 学習コスト: 肉月偏+“力”で構成され、画数も比較的少ない。
7. kartilag / 软骨 /
   * 選定理由: 「软骨」は「軟骨」の簡体字表記。「軟(软)」＋「骨」で「cartilage」を正確に表す。
   * 学習コスト: 「骨」を再利用。新規偏旁として“车”が変化した「软」の要素が入るが、実用的表現として妥当。
8. uln / 尺骨 /
   * 選定理由: 「尺骨」は「ulna」に対応する標準的な名称。
   * 学習コスト: 「骨」を再利用し、「尺」は比較的画数が少ない(4画)。
9. kubut / 肘 /

* 選定理由: 「肘」は「肘関節」、つまりヒジを指す最もシンプルな単字。
* 学習コスト: 肉月偏+“寸”で比較的単純。

1. maleol / 踝 /

* 選定理由: 「踝」は足首付近(くるぶし)を指す標準的な単字。「踝骨」とも言うが、単字で十分。
* 学習コスト: 足偏+“果”で構成されるが、ほかに単字が少ないため妥当。

1. humer / 肱骨 /

* 選定理由: 「肱骨」は上腕骨を指す標準用語。単字のみで「humerus」を表す字は無いので2字熟語に。
* 学習コスト: 「骨」を再利用。「肱」は月(肉)偏+“厷”で、画数も比較的少なめ。

1. tibi / 胫骨 /

* 選定理由: 本来は「脛骨（けいこつ）」だが、簡体字では「胫骨」。tibia(すねの骨)の標準表現。
* 学習コスト: 「骨」を再利用。「胫」は月偏+“巠”。

1. skapol / 肩胛骨 /

* 選定理由: 「肩胛骨」は肩甲骨の標準的な簡体表記。単字に適切なものが無く、3字熟語になる。
* 学習コスト: 「骨」再利用。「肩」「胛」を一度覚える必要はあるが、やむを得ない。

1. kol / 颈 /

* 選定理由: 中国語の「颈 (颈部)」は首を指す標準的表記。日本語の「首」とは含意が少し違うが、最もシンプル。
* 学習コスト: 「页(頁)」偏+“巠”で8画。

1. nuk / 项 /

* 選定理由: 古くは首の後ろや項を指す字。現代語では「项目(プロジェクト)」等が多いが、古義で「うなじ」を表せる。
* 学習コスト: 「页」偏+“工”で8画。15番の「颈」と同じく「页」偏を使う。

1. ŝultr / 肩 /

* 選定理由: 「肩」は肩部を示す最も直接的な一字。
* 学習コスト: 月偏+“戸”の形で、8画程度。

1. koks / 髋 /

* 選定理由: 「髋」は「髖」の簡体字で「hip（股関節周辺）」を指す。日本語の「腰」とは異なるが、解剖学的にはこちらが「股関節」寄り。
* 学習コスト: 骨偏が入るわけではなく月(肉)偏＋“宽”で13画ほど。

1. lumb / 腰 /

* 選定理由: 日本語圏で「腰」と言えば背腰部を指す。中国語でも「腰」はウエスト周辺(腰部)にあたるので、腰椎や腰全般を連想しやすい。
* 学習コスト: 肉月偏+“要”。10～13画程度。

1. krest / 冠 /

* 選定理由: 鳥のとさかを1字で表す適切な漢字はなく、「鶏冠(鸡冠)」なら2字。簡略化して「冠」を“ crest, とさか”のイメージで割り当て。
* 学習コスト: 「冖」＋“元”で9画。転用だが比較的理解しやすい。

1. krop / 嗉 /

* 選定理由: 鳥の“そ嚢(crop)”は「嗉囊」が標準だが、1文字なら「嗉」。やや専門的かつマイナーだが最も直接的。
* 学習コスト: 「口」偏+“素”で13画ほど。使用頻度は低いが、他の選択肢が少ない。

1. faŭk / （未対応） /

* 選定理由: 猛獣などの大きく裂けた口・顎(“maw”)を1字で示す漢字が現代中国語にほぼない。2字熟語も定訳が無いため未対応。
* 学習コスト: 無理に当てはめると誤用の恐れが大きいので割当見送り。

1. muzel / 嘴 /

* 選定理由: 「嘴」は動物の口先や“muzzle/snout”を指す語として日常的にも使われる。
* 学習コスト: 「口」偏+“觜”で16画とやや多いが、意味のズレが少ない。

1. rostr / 鼻 /

* 選定理由: 「象の鼻＝象鼻」と本来2字だが、単字で近い意味は「鼻」。動物全般の鼻(特に長い鼻)を連想しやすい。
* 学習コスト: 14画とやや多いが、日中ともに「鼻」という字の知名度は高い。

1. buŝ / 口 /

* 選定理由: 「口」は最も基本的な“口・口腔”の字で、意味が直接一致。
* 学習コスト: 3画と非常に少なく、既に多くの熟語・偏旁としても使われるため学習しやすい。

naz / 鼻 /

* + 選定理由: 「鼻」は日本語でも中国語でも“鼻”として直感的に認識される。
  + 学習コスト: 単一字であり、かつ「鼻」という意味がはっきりしている。

1. palat / 腭 /
   * 選定理由: 口蓋を指す標準的な簡体字は「腭」。
   * 学習コスト: やや画数は多い(10画程度)が、他に適当な簡単字が見当たらないため採用。
2. makzel / 颚 /
   * 選定理由: 「顎」に当たる簡体字としては「颚」(上顎・下顎を含む“あごの骨”全般)が使われる。
   * 学習コスト: 「腭」と同じく中核部分に「咢」が含まれ、共通要素がある(「月＋咢」「页＋咢」で形が類似)。
3. vang / 颊 /
   * 選定理由: ほお(頬)を表す簡体字は「颊」。日本語「頬」の簡体化形であり、意味も分かりやすい。
   * 学習コスト: 「页」偏旁(おおがい)を再度利用する形。「颚」と同じく「页」を含む。
4. umbilik / 脐 /
   * 選定理由: 「へそ」に相当する単一字は「脐」(「肚脐」が口語だが、単字なら「脐」)。
   * 学習コスト: 肉月(にくづき)＋「齐」の組み合わせ。単一字としては比較的すっきりしている。
5. juk / 痒 /
   * 選定理由: 「かゆい」を表す簡体字は「痒」。
   * 学習コスト: 病気を表す「疒(やまいだれ)」＋「羊」で構成され、比較的覚えやすい。
6. lentug / 雀斑 /
   * 選定理由: 「そばかす」は中国語で「雀斑」。単一字は存在せず、2字熟語が一般的。
   * 学習コスト: すでに出てきた漢字とは共通部分が少ないが、意味優先で選定。
7. pus / 脓 /
   * 選定理由: 「膿」の簡体字が「脓」。意味が明確。
   * 学習コスト: 肉月＋農(の簡体形)。「脓肿」など他の単語でも使われるため学習価値あり。
8. absces / 脓肿 /
   * 選定理由: 「膿瘍」は通常「脓肿」で表すことが多い。単字だと「疽」などがあるがやや範囲が異なる。
   * 学習コスト: 既出「脓」を再利用＋「肿」(にくづき＋中)，2文字だが一般的表現。
9. muk / 粘液 /

* 選定理由: 「粘液」は「黏液」「粘液」いずれも用いられるが、画数の少ない「粘液」を提案。
* 学習コスト: 「粘」と「液」はいずれもよく使われる字で、身体分泌物を表すのに便利。

1. saliv / 唾液 /

* 選定理由: 「唾液」が最も一般的な表現。単字「唾」だけでは「唾(つば)を吐く」の意味が強い。
* 学習コスト: すでに「液」を使っているので、一部の偏旁が共通し覚えやすい。

1. barbir / 理发师 /

* 選定理由: 「理发师」が「理容師」「理髪師」に相当する最も一般的な現代中国語表現。
* 学習コスト: 3文字だが、それぞれ初級学習者にも馴染みのある字(理・发・师)。

1. peruk / 假发 /

* 選定理由: 「かつら」は「假发」が中国語で一般的(「假髮」の簡体形)。
* 学習コスト: 画数は多くない2文字熟語。

1. har / 毛 /

* 選定理由: 「毛」は髪以外の体毛・動物の毛なども含む最も基本的な字。
* 学習コスト: 4画のシンプルな常用字。

1. barb / 胡子 /

* 選定理由: あごひげを含む“ひげ”全般に「胡子」と言う(口語で「胡子＝ひげ」)。
* 学習コスト: 2文字だが「胡」は中級程度で頻出。「子」は基礎字。

1. brov / 眉 /

* 選定理由: 「眉」は単字で“まゆ(眉毛)”を表す。
* 学習コスト: 9画だが比較的ポピュラーな字。

1. hirt / 竖毛 /

* 選定理由: (毛が逆立つ)という意味合いを伝えるなら「竖(まっすぐ立つ)＋毛」が分かりやすい組み合わせ。
* 学習コスト: 単字で完全対応するものが無いため2字熟語を造語的に設定。

1. kalv / 秃 /

* 選定理由: 「はげた」「禿頭」の「禿」は簡体で「秃」。
* 学習コスト: 7画で比較的覚えやすい常用字。

1. bukl / 卷发 /

* 選定理由: 「巻き毛」「カールした髪」は「卷发」(簡体では「卷」表記)が一般的。
* 学習コスト: 「发」は既出(理发师など)。「卷」は7画と比較的コンパクト。

1. vil / 绒毛 /

* 選定理由: 「絨毛」「ふさふさした毛」「ビロード状」などを指すとき、中国語では「绒毛」が広義に使われる。
* 学習コスト: 「毛」は既出。「绒」は簡体の常用字。

1. lanug / 绒毛 /

* 選定理由: 「うぶ毛」「ダウン状の産毛」も広義で「绒毛」と呼ぶことがあるため、再利用。
* 学習コスト: 「vil」と同じ字割当。厳密には違う場合もあるが、学習負担軽減優先。

1. lard / 猪油 /

* 選定理由: ラードは通常「猪油」と表現するのが最もわかりやすい。
* 学習コスト: 「猪」「油」はともに常用語で、中級程度の漢字。

1. ŝink / 火腿 /

* 選定理由: ハムに対応する中国語は「火腿」が一般的。
* 学習コスト: 基礎字「火」と「腿」(やや画数多め)の組み合わせ。

1. bifstek / 牛排 /

* 選定理由: ビフテキ・ステーキは「牛排」で表現。
* 学習コスト: 「牛」「排」ともに初級～中級で習う常用字。

1. viand / 肉 /

* 選定理由: 「肉」は単字で“食用肉”全般を表す。
* 学習コスト: 画数も少なく、非常に基本的な字。

karn / 肉 /

* + 選定理由: 「肉」は中国語でも日本語でも“肉”を指す常用漢字であり、「肉体」「食肉」など広く連想可能。
  + 学習コスト: 既出なし(初出)。6画程度で比較的少ない。

1. trot / 跑 /
   * 選定理由: 「小跑」「跑步」は中国語で「軽く走る」「駆ける」ニュアンスを含む。単に「跑」でも「走る」全般だが、「とトロット(速歩)」のイメージに近いため。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。9画ほどだが頻出単語のため学びやすい。
2. galop / 驰 /
   * 選定理由: 「驰」は中国語で「(馬が)駆ける、疾走する」イメージがあり、「奔驰(疾走する)」の略としても使われる。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。6画で比較的少ない。
3. ĉeval / 马 /
   * 選定理由: 「馬」を意味する最基本の簡体字。日本語でも「馬」とほぼ同形。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。3画と極めて少なく、初学者に優しい。
4. brid / 辔 /
   * 選定理由: 「辔」は中国語で「馬のくつわ、轡(くつわ)」を意味し、特に“馬具の辔頭”を指す。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。やや専門用語だが、本来の「bridi(馬に轡をつける)」の意味に合致。
5. karavan / 商队 /
   * 選定理由: 中国語では「商队」が「隊商(キャラバン)」に最も近い表現。
     + 「商」= 商売・交易
     + 「队」= 隊列・集団
   * 学習コスト:
     + 「商」は日中ともに「商品」「商売」で頻出(11画)。
     + 「队」は「隊」の簡体字(4画)。
6. omnibus / 马车 /
   * 選定理由: 乗合馬車を指す明確な1文字は存在しないため、「馬車」を意味する「马车」を採用。当時の“乗合”用途を簡潔に表せる。
   * 学習コスト:
     + 「马」は既出(ĉeval)。
     + 「车」は中国語で乗り物全般を意味する簡体字(4画)、日本語の「車」と同源。
7. stal / 厩 /
   * 選定理由: 「厩」は「馬小屋・厩舎」の意。日本語でも「厩舎(きゅうしゃ)」の字に近い。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。1文字で“stable”を表せるやや特殊な字だが、画数(10画)は許容範囲。
8. greg / 群 /
   * 選定理由: 中国語でも日本語でも「群」は「(動物や人間の)集まり」を意味し、「羊群(羊の群れ)」「牛群(牛の群れ)」など幅広く使える。
   * 学習コスト: 既出なし(初出)。13画と少し多めだが、非常に基本的な概念字。
9. kat / 猫 /

* 選定理由: 「猫」は簡体字でも「猫」で、「貓」の旧字からの簡略形。日中とも「ネコ」を連想しやすい。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。8画。

1. hund / 狗 /

* 選定理由: 中国語で「狗」は一般的に「犬」を表す(日本語「犬」と別字)。日本人からも比較的想起しやすい。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。8画。

1. bubal / 水牛 /

* 選定理由: 水牛を表す単独1文字は存在しないので、「水(みず)＋牛(うし)」で最も自然な表現。
* 学習コスト:
  + 「水」は初出(4画)。
  + 「牛」は後述のbovでも登場(4画)。

1. bov / 牛 /

* 選定理由: 中国語において「牛」は広くウシを意味する基本単語。
* 学習コスト: 既出(上記12で使用)。

1. pork / 猪 /

* 選定理由: 簡体字の「猪」は“豚”を表す。日本語では「猪」はイノシシだが、中国語では専ら“家豚”を指す点に注意。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。7画。

1. apr / 野猪 /

* 選定理由: 「野猪」は“野生の豚(=イノシシ)”を表す標準的表現。
* 学習コスト:
  + 「野」は初出(11画)。
  + 「猪」はporkですでに使用。

1. ŝaf / 羊 /

* 選定理由: 「羊」は中国語でも日本語でも“羊”を意味する基本単語。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。6画。

1. kapr / 山羊 /

* 選定理由: 中国語で“ヤギ”は通常「山羊」と書く(「羊」だけでは羊全般を指しがち)。
* 学習コスト:
  + 「山」は初出(3画)。
  + 「羊」はŝafですでに使用。

1. urs / 熊 /

* 選定理由: 簡体字でも「熊」は同形。日中とも“くま”を容易に連想可。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。14画でやや多いが基本動物名。

1. cerv / 鹿 /

* 選定理由: 「鹿」は簡体字でも同形。日中共通で“しか”を連想しやすい。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。11画。

1. lup / 狼 /

* 選定理由: 「狼」は簡体字でも同形。日中ともに“オオカミ”の漢字として馴染み。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。10画。

1. tigr / 虎 /

* 選定理由: 「虎」は簡体字・日本語ともに“トラ”を直接連想する常用字。
* 学習コスト: 既出なし(初出)。8画。

1. pelikan / 鹈鹕 /

* 選定理由: 中国語の標準的な「ペリカン」の表記。1文字では存在しないため2文字表記。
* 学習コスト:
  + どちらも鳥偏(「鸟」の変形)を含むため、学習の関連づけはしやすいが、やや画数多め。

1. feniks / 凤凰 /

* 選定理由: 中国語で“鳳凰(phoenix)”を示す最も一般的な語形が「凤凰」。日中ともに“ほうおう”をイメージしやすい。
* 学習コスト:
  + 「凤」は簡体字(4画)、日本語の「鳳」の簡略形。
  + 「凰」は11画。

1. hiskiam / 莨菪 /

* 選定理由: 「ヒヨス(henbane)」を指す中国語学名の一つ。「莨菪属」(ラウタング属)等で知られる。
* 学習コスト:
  + どちらも草かんむり(艹)を含み、植物関連だとわかりやすいが、専門的かつ画数も多め。
  + 一文字表記が無いので2文字に。

1. hien / 鬣狗 /

* 選定理由: 中国語で「鬣狗」が“ハイエナ”を指す標準表現。
* 学習コスト:
  + 「鬣」は髪(たてがみ)を連想する部分で画数多い(21画前後)が、「狗」は既出(犬)と同じ。

fringel / 雀 / 小さな鳴鳥(finches等)をまとめて「雀」として再利用 / 初出

* + 理由: 中国語ではスズメ類や小鳥全般を「雀」と書く場合もあるため、finch系の鳥を便宜的に「雀」に集約。
  + 学習コスト: 画数はやや多い(11画)が、鳥の意味として日中いずれでも連想しやすい。

1. kanaben / 雀 / 同上(ベニヒワ含む小型フィンチを「雀」に統合) / 雀の再利用
   * 理由: 「マヒワ」と同様、小さな鳴鳥を単一字に集約し、漢字数削減。
   * 学習コスト: 既出の「雀」を使うので追加負担なし。
2. sup / 汤 / スープの意 / 初出
   * 理由: 現代中国語で「スープ」は「汤」が最も一般的。日本語「湯(ゆ)」との対応も比較的連想しやすい。
   * 学習コスト: 6画と比較的少なく、分かりやすい。
3. sirop / 糖浆 / シロップ(syrup)の意 / 新字「糖」「浆」
   * 理由: 「糖」(糖分)＋「浆」(とろみのある液体) でシロップに近い意味合い。
   * 学習コスト: 二字熟語だが、中国語母語話者にとっては分かりやすい。日本語圏にも「糖＝砂糖」のイメージがあるため比較的想像しやすい。
4. salat / 沙拉 / サラダの音訳 / 新字「沙」「拉」
   * 理由: 中国大陸で一般的な音訳語「沙拉」。日本語「サラダ」と音が近く、日本人にも推測が容易。
   * 学習コスト: 二字ながら筆画はそれほど多くない(7画＋8画)。
5. saŭc / 酱 / ソース全般(調味用ソース～ペースト) / 初出
   * 理由: 「酱」はやや「味噌」「ペースト」寄りだが、中国語で幅広く「ソース」を指しうる。
   * 学習コスト: 13画と多めだが、単字で済むため割当がシンプル。
6. kolbas / 香肠 / ソーセージ / 新字「香」「肠」
   * 理由: 中国語でソーセージを最も一般的に指す「香肠」。
   * 学習コスト: 二字だが標準訳。単字「肠」(腸)では意味が伝わりにくいため熟語を採用。
7. sofi / 索菲 / 「ソフィア」の部分的音訳 / 新字「索」「菲」
   * 理由: 中国語では「索菲亚」「苏菲」等が一般的。ここでは2文字の「索菲」に簡略化。
   * 学習コスト: 人名用の音訳。やや画数は増えるが、女性名と察しやすい。
8. seraf / -- / 「セラフィム(熾天使)」の単字割当困難 / 未対応
   * 理由: 中国語で「撒拉弗」「六翼天使」など複数候補があるが、いずれも字数多めで学習コストが大きい。
   * 学習コスト: 単一文字が存在しないため割当見送り。
9. sofist / -- / 「ソフィスト(詭弁家)」の単字化困難 / 未対応
   * 理由: 意訳すると「诡辩家」等、熟語3字以上になりやすい。
   * 学習コスト: 語源的にも抽象概念。単字割当は難しく未対応。
10. sifon / 虹吸 / サイフォン / 新字「虹」「吸」
    * 理由: 「虹吸管」が一般的だが、「管」を省略して2字に圧縮。
    * 学習コスト: 二字熟語だが、意味を連想しやすく中国語話者にも馴染み深い。
11. safir / 蓝宝石 / サファイア / 新字「蓝」「宝」「石」
    * 理由: 標準的には「蓝宝石」。単字は存在しない。
    * 学習コスト: 三文字だが宝石名としては分かりやすい。
12. safran / 藏红花 / サフラン / 新字「藏」「红」「花」
    * 理由: 中国語でサフランは「藏红花」が一般的表記(「チベット紅の花」の意)。
    * 学習コスト: 三字だが植名としては定着している。
13. sagu / 西米 / サゴ(サゴ澱粉) / 新字「西」「米」
    * 理由: 中国語ではサゴ澱粉を「西米」と称することが多い。
    * 学習コスト: 画数も少なく、二字で簡潔。
14. samovar / 茶炊 / サモワール / 新字「茶」「炊」
    * 理由: ロシア式湯沸かし器の意味合いで中国語訳に「茶炊」。やや専門的だが2字に抑えた。
    * 学習コスト: 新たに2字導入も、どちらも比較的初級レベルの漢字。
15. puding / 布丁 / プディング / 新字「布」「丁」
    * 理由: 中国語の音訳「布丁」は定着しており、カタカナ語「プディング」と音が近い。
    * 学習コスト: 二字とも画数少なく覚えやすい。
16. fronton / 山花 / ペディメント / 新字「山」、花は既出
    * 理由: 建築用語で「山花」「三角楣饰」など。ここでは二字の「山花」(妻壁飾りの一種)を採用。
    * 学習コスト: 「花」は既出(サフランで使用)。追加は「山」1字のみ。
17. pepsin / 胃酶 / ペプシン(胃蛋白酶) / 新字「胃」「酶」
    * 理由: 正式には「胃蛋白酶」だが4字になるため、「胃酶」の2字に簡略化。
    * 学習コスト: 専門用語だが2字に短縮。
18. pfenig / 芬尼 / ペニヒ / 新字「芬」「尼」
    * 理由: 中国語の音訳「芬尼」。ドイツ通貨単位の翻訳例に準拠。
    * 学習コスト: 二字だが画数合計はそれほど多くない(7＋5)。
19. penc / 便士 / ペンス(ペニー) / 新字「便」「士」
    * 理由: イギリスの通貨単位pennyを表す中国語訳「便士」。
    * 学習コスト: 日本語にも「ペニ→便」「シ→士」の字面から類推可能。
20. fusten / -- / ファスチアン(粗斜纹棉布) / 未対応
    * 理由: 単字化・二字化ともに厳しく、一般的訳語も長め(「粗斜纹棉布」など)。
    * 学習コスト: 文字数が多くなるため割当を見送り。
21. pistak / 开心果 / ピスタチオ / 新字「开」「心」「果」
    * 理由: 中国語で「ピスタチオ」は「开心果」が定着。
    * 学習コスト: 三字だが、日常的に見かける熟語でイメージしやすい。
22. mastik / 胶 / マスティック(パテ・接着剤系) / 初出
    * 理由: 「mastic」はパテや接着剤の意味も含むため、中国語で粘着物を表す「胶」を転用。
    * 学習コスト: 4画と少なくシンプル。
23. patos / 情 / パトス(感情・情念) / 初出
    * 理由: 厳密な「pathos」とは異なるが、広義の「感情・情」を優先し単字化。
    * 学習コスト: 11画だが「心(忄)」偏が含まれるため“感情”の連想はしやすい。
24. piŝt / 活塞 / ピストン / 新字「活」「塞」
    * 理由: 中国語では「活塞」が標準的。
    * 学習コスト: 2字ともやや画数多めだが、機械部品用語として一般的。

punĉ

* 提案: 宾治
* 理由: 中国語で果物などを混ぜた“パンチ(ポンチ)飲料”を指す際に「宾治」「潘趣」などと表記されることがあるため。
* 学習コスト: 2文字だが、どちらも比較的初級～中級レベルの漢字。「宾(賓)」は日本語でも「賓客」の語で見覚えがある可能性あり。

swift

Copy

punĉ/宾治/中国語でパンチ(果物酒)を指す慣用表現/2文字だが比較的学習負担は小さめ

1. pistol

* 提案: 枪
* 理由: 本来は「手枪」が一般的表現だが、1文字に簡略化して「枪」を割り当て。銃器全般の意味を持つが、学習コスト削減を優先。
* 学習コスト: 既出の偏旁なし。1文字で済むため覚えやすい。

swift

Copy

pistol/枪/手枪の略、単に「銃」を指す字/1文字なので学習負担は低い

1. piastr

* 提案: 未対応
* 理由: ピアストル(中東や北アフリカ等で使われる通貨)に対応する簡体字1文字・短熟語が見当たらず、学習コスト対効果が低いため。

swift

Copy

piastr/未対応/単独の常用漢字が見当たらない/学習コストと使用頻度の兼ね合いで未割当

1. gutaperk

* 提案: 胶
* 理由: 厳密には「gutta-percha(グタペルカ)」は特定の天然ゴムだが、1文字で類似概念として「ゴム・樹脂」的ニュアンスをまとめて「胶」にして簡略化。
* 学習コスト: 1文字で済むため負担が低いが、意味の汎用性は広くやや曖昧になる。

swift

Copy

gutaperk/胶/樹脂・ゴム系の材料という意味合いで簡略化/1文字で学習負担を軽減

1. kopek

* 提案: 戈比
* 理由: ロシアの通貨「コペイカ」は中国語で「戈比」と表記するのが一般的。
* 学習コスト: 2文字とも初出。「戈」は武器(ほこ)を表す部首としても覚えられる。「比」は比較の「比」。

swift

Copy

kopek/戈比/ロシア通貨名の定訳/新出2文字だが比較的画数少なめ

1. tapiok

* 提案: 木薯
* 理由: タピオカの原料であるキャッサバを中国語では一般に「木薯」と呼ぶ。
* 学習コスト: 2文字。どちらも比較的基本的な部首(「木」「艹＋者の変形」)で構成。

swift

Copy

tapiok/木薯/キャッサバ(タピオカ原料)の中国語/2文字、画数はやや多いが妥当

1. lupol

* 提案: 酒花
* 理由: ホップの中国語名として「啤酒花」「酒花」が使われる。ここではより短い「酒花」を採用。
* 学習コスト: 2文字。どちらも初級～中級レベル。ビール(酒)の花のイメージで覚えやすい。

swift

Copy

lupol/酒花/ホップの俗称である「ビールの花」を簡略化/既出偏旁なしだが2文字で通じる

1. hisop

* 提案: 牛膝草
* 理由: 「ヒソップ」は中国語で「牛膝草」と表記されることが多い。ただし一部混同例もあるため注意。
* 学習コスト: 3文字。「牛」「膝」「草」。それぞれ別途学ぶ必要はあるが、そこまで難字ではない。

swift

Copy

hisop/牛膝草/ヒソップの一般的漢名/3文字だが比較的日常的な漢字

1. anagal

* 提案: 未対応
* 理由: ルリハコベ(blue pimpernel)は漢名がマイナーかつ表記揺れが多い。1文字も見つからず、実用性も低いため見送り。

swift

Copy

anagal/未対応/正式な漢字表記が非常にマイナー/学習効率と需要を考慮して割当見送り

1. tulip

* 提案: 郁金香
* 理由: チューリップを指す中国語として最も一般的な3文字。
* 学習コスト: 「郁」「金」「香」はいずれも画数そこそこだが、中国人・日本人ともに“チューリップ”と認知しやすい。

swift

Copy

tulip/郁金香/チューリップの中国名として定着/3文字だが代表的名称

1. leontod

* 提案: 蒲公英
* 理由: タンポポの中国語名として広く使われる3文字(「ホコウエイ」と読む)。
* 学習コスト: 「蒲」「公」「英」で3文字。どれも比較的馴染みはある漢字。

swift

Copy

leontod/蒲公英/タンポポの漢名/3文字、標準的な呼称

1. opal

* 提案: 欧泊
* 理由: オパールを指す中国語としては「欧泊」または「蛋白石」が使われるが、前者が2文字で画数も少し抑えられる。
* 学習コスト: 「欧」(7画)＋「泊」(8画)の2文字。比較的コンパクト。

swift

Copy

opal/欧泊/オパールの訳語の一つ。蛋白石より字数少なめ/2文字で済む

1. topaz

* 提案: 黄玉
* 理由: トパーズの一般的な中国語表記。「托帕石」や「黄玉」などがあるが、ここでは2文字の「黄玉」を採用。
* 学習コスト: 「黄」と「玉」はどちらも基本的な漢字。

swift

Copy

topaz/黄玉/トパーズの簡易表記/2文字で画数少なめ

1. papirus

* 提案: 纸莎草
* 理由: パピルス(紙の原料となる植物)は中国語で「纸莎草」「莎草纸」等があるが、植物名としては「纸莎草」が一般的。
* 学習コスト: 3文字。既出の「草」と組み合わせ。新出は「纸」「莎」。

swift

Copy

papirus/纸莎草/パピルス植物名として通じやすい/3文字、やや長いが標準名称

1. petrosel

* 提案: 欧芹
* 理由: パセリに相当。中国語では「欧芹」と呼ぶのが一般的(香菜はパクチー)。
* 学習コスト: 2文字。「欧」は上記(欧泊)で既出。「芹」は新出だが画数少なめ。

swift

Copy

petrosel/欧芹/パセリの中国語/2文字で比較的シンプル

1. paĉul

* 提案: 广藿香
* 理由: パチョリの正式な中国名。2文字の省略形「藿香」もあるが別種も含まれる場合があるため、最も一般的な3文字を採用。
* 学習コスト: 「广」「藿」「香」。すでに「香」は郁金香で登場済み。

css

Copy

paĉul/广藿香/パチョリの標準漢名/3文字だが最も通用する

1. asparag

* 提案: 芦笋
* 理由: アスパラガスの中国語は「芦笋」が一般的。
* 学習コスト: 2文字。「芦」と「笋」はいずれも基本的な部首構成で学びやすい。

swift

Copy

asparag/芦笋/アスパラガスの中国語/2文字で済むため負担小

1. pastinak

* 提案: 欧防风
* 理由: パースニップ(セリ科の根菜)は中国語で「欧洲防风」「欧防风」などと表記されることが多い。ここではやや短い「欧防风」。
* 学習コスト: 3文字。「欧」は既出、新出は「防」「风」。

swift

Copy

pastinak/欧防风/パースニップの中国語/3文字だが比較的字面はシンプル

1. lod

* 提案: 半盎
* 理由: 「半オンス」相当だが、正式な単位名は中国語にほぼ無い。便宜上「半盎(＝半オンス)」として割り当て。
* 学習コスト: 「半」「盎」は新出。簡略表記なので注意。

swift

Copy

lod/半盎/半オンス相当だが簡略的表記/2文字＋1文字＝計2+1画程度

1. unc

* 提案: 盎司
* 理由: オンスの標準的中国語表現「盎司」。
* 学習コスト: 「盎」は上記(半盎)で既出。「司」は新出。2文字。

swift

Copy

unc/盎司/オンスの中国語/2文字、lodの「半盎」と部首共有

1. litr

* 提案: 升
* 理由: 中国語でリットルを示す際に「升(shēng)」がちょうど1リットルとして用いられる(※日本の「1升=約1.8L」とは異なる)。
* 学習コスト: 1文字で単位を示せるので簡潔。

swift

Copy

litr/升/中国で1升=1Lという対応/1文字で学習負担が低い

1. singular

* 提案: 单数
* 理由: 文法用語として「単数」は中国語で「单数」。1文字「单」だけでは“シングル”概念しか伝わらないため2文字で。
* 学習コスト: 新出「单」「数」だが、いずれも基礎漢字。

swift

Copy

singular/单数/文法概念としての単数/2文字で標準表現

1. rism

* 提案: 令
* 理由: 英語の“ream(紙の連量)”に相当する中国語には「令」(500枚)の単位がある。やや古いが1文字化を優先。
* 学習コスト: 新出文字「令」。1文字で済む。

swift

Copy

rism/令/紙500枚(ream)に相当する単位/1文字での古い表現

1. verst

* 提案: 未対応
* 理由: ロシアの古い距離単位ベルスタに対応する漢字はほぼ見当たらない。需要も低いため見送り。

swift

Copy

verst/未対応/対応する漢字表記が極めてマイナー/学習効率を考慮し未割当

1. buŝel

* 提案: 蒲式耳
* 理由: ブッシェルの中国語表記「蒲式耳」が一般的。
* 学習コスト: 3文字。「蒲」は(タンポポの蒲公英で)既出、「式」「耳」は新出。

swift

Copy

buŝel/蒲式耳/ブッシェルの中国語/3文字だが標準的単位名

fut / 英尺 / 「foot(英尺)」を示す熟語。中国語では「英尺」が最もわかりやすく、日本語話者にも「英＝英語圏の単位」と推測しやすい / (新出)

* stof / 布 / 「布地」「織物」の意。画数が少なく日本語・中国語双方で「布＝ぬの」として比較的直感しやすい / (新出)
* kilogram / 千克 / 中国語で標準的な「キログラム」の表記。すでに「克」をgramで使う予定なので「千＋克」で覚えやすい / (偏旁として「千」「克」を後で再利用可)
* gram / 克 / 中国語の「グラム」に相当。短く画数も少ない / (新出。「克」は後述のカラットとも関連)
* funt / 磅 / 中国語ではポンドの単位記号として「磅」(読み：bàng)が一般的。単体1文字で済む / (新出)
* tun / 吨 / 中国語簡体字で「トン」。画数が少なく単位として通用 / (新出)
* hektar / 公顷 / 中国語の「ヘクタール」。二字熟語だが計量単位としては標準的 / (新出)
* ŭat / 瓦 / 中国語で「ワット」を略して「瓦」と書くのが通例（正式は「瓦特」だが略字1文字で十分） / (新出)
* karat / 克拉 / 「カラット」の中国語表記。前述の「克(gram)」＋「拉」の組み合わせで馴染みやすい / (「克」は既出、「拉」は新出)
* kozak / 哥萨克 / 「コサック」の一般的な中国語転写。3文字だが、定着している表現 / (新出3字)
* kaka / 可可 / 「ココア豆」→「可可(豆)」の略形。中国語では「可可」が通称 / (新出。「可」は重複文字なので学習しやすい)
* koaks / 焦炭 / 「コークス」の中国語一般名称。1文字では難しいため2文字熟語 / (「焦」「炭」ともに新出)
* blat / 蟑螂 / 「ゴキブリ」の中国語標準表記。画数は多いが、他に1文字は存在せず2文字が一般的 / (新出)
* tindr / 火绒 / 「ほくち」「火口」に近い意味で、中国語で火打ち道具の“火種”の一種を指す「火绒」を採用 / (新出)
* kork / 软木 / 「コルク」は中国語で「软木(＝軟らかい木)」と呼ぶのが一般的 / (新出)
* kran / 龙头 / 「蛇口」「コック」「栓」に当たる言葉。中国語の水道用語では「龙头」が広く使われる / (新出)
* mazurk / 玛祖卡 / マズルカの中国語表記転写（3文字だが、曲名の外来語として定着）。略1文字は存在しない / (新出3字)
* gazel / 羚羊 / ガゼルは細かくは「瞪羚」など数種あるが、中国語で「羚羊(総称としての小型アンテロープ類)」が比較的分かりやすい / (新出)
* zizel / 地松鼠 / ジゼル(ススリク;suslik)は「地松鼠(＝グラウンドスクイレルの意)」と訳すのが一般的。3文字だが他に1文字は無い / (新出3字)
* ŝarad / 字谜 / 「字謎(＝文字を使った謎)」。本来“charade”はジェスチャーゲームも含むが、中国語で同様の語感に近い表記として便宜的にこれを採用 / (新出)
* fars / 闹剧 / 「笑劇」「ファルス」は中国語で「闹剧」が定訳 / (新出)
* skerc / 诙谐曲 / 「スケルツォ」は中国語で「诙谐曲」または「谐谑曲」と呼ぶが、比較的使われる「诙谐曲」を採用 / (新出3字)
* citr / 齐特琴 / 「チター」に近い外来語表記(「zither」に由来)。中国語では「齐特琴」「齐特尔琴」などが散見されるが、略1文字は無い / (新出3字)
* vist / 惠斯特 / トランプゲーム「ホイスト」の音訳。中国語での一般的音訳表記の一つ / (新出3字)
* gamaŝ / 绑腿 / ゲートルは中国語で「绑腿」が最も通じる。2文字で単純明快 / (新出)

georg / 乔治 / 中国語の一般的な音訳（「George」） / 2文字だが固有名詞の標準訳として妥当。既出との統合は難しいが頻出語でもないためこのまま採用。

1. jaguar / 豹 / 「美洲豹」の略。ジャガーはヒョウ類の一種なので「豹」で集約 / 日本語でも「豹」は「ヒョウ」と読めるためイメージしやすい。
2. gaz / 纱 / ガーゼ(紗)の意に近い簡体字「纱」を採用 / 「纱」は日本語の「紗(しゃ)」と同系であり、意味の連想も容易。
3. zigzag / 之 / 之字形(ジグザグ)の「之」から抽出 / 単字で「ジグザグ」を表す字はないため、「之」を流用。
4. flag / 旗 / 「旗」の字をそのまま使用 / 後続の「standard」など“旗”系語との重複利用を想定しており学習コスト削減。
5. standard / 旗 / 元々「軍旗」「国旗」などの意味から転じた「旗」を再利用 / 「flag」との重複割当。
6. emblem / 徽 / 「徽章」「徽記」などで使われる「徽」を代表として使用 / 後述の insign, blazon とまとめて「徽」を共通化。
7. insign / 徽 / 「徽章」の「徽」を再利用 / emblem, blazon と同系統なのでまとめて1字に集約。
8. blazon / 徽 / 紋章(纹章)も「徽章」と近い意味なので「徽」で一括 / 同上。
9. deviz / 铭 / 「座右の銘」の「铭」を抜き出して簡体字形を利用 / 「铭」は日本語「銘」の簡体。やや画数多めだが固有用法なので割当。
10. signal / 号 / 「信号」の後半「号」を抽出 / 以下の「sign」「mark」「symbol」系も「号」でまとめ、学習コストを下げる。
11. sign / 号 / 「符号」「记号」などで使われる「号」から / signal と同字割当。
12. simbol / 号 / 本来は「符号」「象征」などが近いが、単字統一のため「号」に集約 / 同上。
13. mark / 号 / 記号やしるし(记号)の要素「号」を再利用 / 同上。
14. stamp / 印 / スタンプやハンコに相当する「印」を採用 / 「号」とは別に、押印や印章は「印」が自然。
15. buton / 扣 / 中国語「纽扣(ボタン)」の後半「扣」 / 「バックル(buk)」等と合わせて再利用可能。
16. brems / 闸 / 「制动闸」「刹车闸」などから「闸」(ブレーキやシャッターのニュアンス) / 「制」「刹」より「闸」のほうが“ブレーキ装置”らしく画数も少なめ。
17. meĉ / 芯 / 「灯芯」を直接表す「芯」 / 日本語でも「芯(しん)」と同形で分かりやすい。
18. broĉ / 针 / 中国語「胸针(ブローチ)」の「针」を抽出 / 「針」の簡体字で画数も少ない。
19. bracelet / 环 / 「手环」(ブレスレット)の「环」を流用 / 本来は「镯」が正確だが画数が多いため「环」(輪)で代用。
20. buk / 扣 / 「带扣」「扣子」の「扣」。すでに buton(ボタン)で使った字を再利用 / ボタンとバックルを同じ字で統合し学習コスト削減。
21. bandaĝ / 带 / 中国語「绷带(包帯)」の後半「带」を抜き出す / 次の“帯”系と統合。
22. zon / 带 / 「腰带(ベルト)」の「带」を使い回し / 同字で「バンテージ等」と混用するが注釈で区別。
23. kravat / 带 / 「领带(ネクタイ)」の「带」を再利用 / belt, bandage と共用。
24. rimen / 带 / 「皮带(皮ひも,ストラップ)」の「带」を使い回し / 同上。

maŝ / 网 / 「mesh＝網」のイメージ /

* 「网」は画数が少なく、中国語で「ネット・網目」を表す常用字。日本語話者にも“網”とのつながりで連想しやすい。
* lig / 联 / 「連盟・結ぶ」のイメージ /
* 「联」は「連合」「関連」「联盟」など“つながる・連合する”の意味を持つ。画数はやや多めだが「辶(しんにょう)」偏でまとまりが良い。
* lig## / 联 / 「連盟」の語根使い回し /
* 上記(2)と同根につき同じ字を割り当て、学習コストを抑える。
* ĉen / 链 / 「鎖・チェーン」の意味 /
* 「链」は「鎖(链子)」の簡体字で、中国語では“連なり”のイメージ。同じく金偏(钅)を使い回せる。
* kroĉ / 钩 / 「引っかける＝鉤」のイメージ /
* 「钩」は「鉤」の簡体字。掛ける・引っ掛ける動作を連想しやすい。金偏(钅)の再利用。
* katen / 铐 / 「手かせ・足かせ」の意味 /
* 中国語で「铐」は“手錠・手かせ”を表す。日本語話者にはやや馴染み薄だが、1文字で「拘束具」の意味を示せる。金偏(钅)を再利用。
* もし2文字を許容するなら「镣铐(liaokào)」が“足かせ手かせ”の標準表現。
* ankr / 锚 / 「錨」の意味 /
* 「锚」は「錨」の簡体字。金偏(钅)でそろえているため学習コストを分散しやすい。
* vinkt / 铆钉 / 「留め金・リベット」の意味 /
* 中国語で「铆钉」はリベットを意味する標準的表現。どちらも金偏(钅)なので、すでに登場している偏旁を再利用できる。
* hok / 钩 / 「鉤(フック)」の名詞 /
* (5)「kroĉ」と同じ「钩」を割り当て、“掛ける動作(kroĉ)”と“鉤そのもの(hok)”で同字使い回し。
* nod / 结 / 「結び目＝結」のイメージ /
* 「结」は“結ぶ”“結び目”を表す簡体字。画数が少なく、糸偏(纟)を再利用可能。
* kondiĉ / 条件 / 「条件」の意味 /
* 「条件」は中国語で“条件・要件”を表す定番2文字。日本語にも同形で通じる。
* kondicional / 条件法 / 「条件法(文法用語)」 /
* 「条件＋法」で“条件法”を直訳。日本語にも同じ熟語があり、学習しやすい。
* solid / 固体 / 「固体」の意味 /
* 中国語・日本語で共に“固体”は理科や物理学用語として馴染み深い。
* fiks / 固定 / 「固定した」の意味 /
* 「固定」は動詞・形容詞いずれにも広く使え、“動かない”ニュアンスを包含。
* fiks## / 固定 / 「(を)固定する」の意味 /
* (14)と同根のため同じ熟語を使い回し、学習コストを抑える。
* metropol / 都市 / 「中心都市＝メトロポリス」 /
* 「都市」は“大きな街”というイメージで日中ともに理解しやすい。
* komun/um## / 公社 / 「自治体・コミューン」のイメージ /
* 中国語で「公社」は“公的組織・コミューン”を指し、日本語でも“公共・社”の組み合わせで連想しやすい。
* urb / 市 / 「市(都市)」 /
* 単独の「市」は中国語でも“都市・市街”を表し、日本語話者にもなじみ深い。
* civit / 自治市 / 「自治都市・市民社会」のイメージ /
* 「自(自己)＋治(統治)＋市」で“自治市”。新たに「自」「治」を追加するが、日本語でもよく使われる字。
* land / 国 / 「国」の意味 /
* 「国」は日中で共通かつ最も基礎的な文字。
* ŝtat / 国家 / 「国家(政府・州)」 /
* 中国語で「国家」は“country, state”の意味。既出の「国」に「家」が加わるが、日本語利用者にも定番の熟語。
* regn / 王国 / 「国(特に王国・領域)」 /
* 「王国」は“realm, kingdom”を指す標準表現。すでに使った「国」の組み合わせで学習コストを抑える。
* respublik / 共和国 / 「共和国」の意味 /
* 「共和国」は中国語で“republic”の直訳。日本語でも同義で通じる。
* federaci / 联邦 / 「連邦」の意味 /
* 中国語で「联邦」は“federation”に当たる。既出の「联」を再利用し、新出「邦」は“国家や領域”を示す。
* konfederaci / 邦联 / 「国家連合＝連合体」の意味 /
* 「邦联」は“confederation”の定訳。「邦」は(24)で登場済み、「联」も同じく再利用。

mond / 世 / 「世界」「世の中」を直感しやすく、画数も比較的少ない / 新規

1. cirkonstanc / 况 / 「状況」「情況」で用いる「况」(“circumstance”に近い) / 新規
2. medi / 境 / 「環境」(环境)などに含まれる字で、「境界」「周囲の様子」のイメージ / 新規
3. ter / 土 / 「土地」「土壌」を最もシンプルに表す字 / 新規
4. grund / 土 / 「地盤」「土台」も「土」で再利用(振り仮名等で区別) / 既出の「土」を再利用
5. region / 区 / 「地区」「区域」などで用いられ、「地域」を示唆 / 新規
6. teritori / 域 / 「领土」「区域」「领域」などで使われる「域」 / 新規
7. bien / 庄 / 「庄园」(荘園)などから「地所・田庄」を連想しやすい / 新規
8. teren / 场 / 「场地」「场所」などで用いられ、「(特定用途の)敷地」や「場」を示す / 新規
9. stat / 状 / 「状態」「状況」の「状」から、状態・様子を表す字 / 新規
10. situaci / 况 / 「事態」「状況」のニュアンスを「况」で再利用(振り仮名区別) / 既出の「况」を再利用
11. lok / 场 / 「場所」「ロケーション」を「场」で再利用(振り仮名区別) / 既出の「场」を再利用
12. ej / 场 / “[場所]の接尾辞”としても「场」を転用して学習負担を低減 / 既出の「场」を再利用
13. pozici / 位 / 「位置」「ポジション」を示すのに使われる / 新規
14. situ / 位 / 「(地理的)位置」「所在」は「位」で再利用 / 既出の「位」を再利用
15. fak / 科 / 「学科」「専門分野」などのイメージに最適 / 新規
16. industri / 业 / 「产业」「工業」「事業」を連想でき、画数も少ない / 新規
17. sektor / 部 / 「部门」「部門」として「セクター」「部局」を連想しやすい / 新規
18. jar / 年 / 「年」の意味そのまま / 新規
19. sezon / 季 / 「季節」を最も直接的に示す / 新規
20. generaci / 代 / 「世代」「一代」などの語感で「代」を使用 / 新規
21. aĝ / 岁 / 年齢を示す最頻字の一つ(「歲」の簡体字) / 新規
22. epok / 纪 / 「世纪」「纪元」から「時代」「エポック」を想起しやすい / 新規
23. felieton / 栏 / 新聞・雑誌の「コラム(专栏)」を表すのに適切 / 新規
24. ĉapitr / 章 / 「章」「篇」を示す代表的な字 / 新規

paragraf

* + 段
  + 段落(パラグラフ)を示すのに中国語では「一段话」「文章の一段」などと表現することが多く、比較的分かりやすい。
  + 既出なし(最初の提案)。ただし後述の「阶段(stadi)」で再利用予定。

1. tekst
   * 文
   * 「テクスト＝本文・文章」のイメージに最も直結する単漢字。日本語圏でも「文＝文章」として直感的。
   * 新規導入。画数も少なく学習コストは比較的低い。
2. artikol
   * 篇
   * 「(文章の)一篇」「論文一篇」のように「～篇」は“記事・論説・論文”に相当しやすい。
   * 新規導入。やや画数が多い(15画)が、意味の対応は明快。
3. artikol## （文法上の「冠詞」）
   * 冠词
   * 中国語で文法用語の「冠詞」は「冠词」と書く。1文字で対応できる漢字が存在しないため、2文字熟語で割当。
   * 「冠」「词」ともに新規。文法用語として分かりやすいが、新たに2文字を導入。
4. tem
   * 题
   * 「题」は中国語で「问题(質問・問題)」「话题(話題)」「主题(主題)」など“テーマ・題目”全般に用いられる。
   * 新規導入(後に「问题(problem)」「主题(subjekt)」などでも再利用)。画数8(“题”の簡体字)でそこそこ。
5. subjekt
   * 主题
   * 「主題」「トピック」の意味で中国語では「主题」が自然。「主」+「题」で2文字だがわかりやすい。
   * 「题」は(5)で既出。「主」は今回新規だが、日中ともに意味を把握しやすい。
6. problem
   * 问题
   * 中国語で「問題」「トラブル」を表す最も一般的な単語。「问」+「题」の組み合わせ。
   * 「题」は(5)で既出。「问」は新規導入(画数は少なめ:7画)。意味は直感的。
7. kaz ([文]格)
   * 格
   * 文法用語「格」に対応する単漢字として「格」は日中双方で「～格」の意味が通じやすい。
   * 新規導入(10画)。文法上の用法として理解しやすい。
8. part
   * 分
   * 「部分」の単漢字化として「分」は「一部分」の「分」に近いニュアンスがある。
   * 新規導入。頻出漢字で日本人にもなじみ深い。
9. porci（分け前・割り当て）

* 份
* 中国語で「～の分け前・割り当て」は「份」が最も直接的。「一份」「两份」と“～人前”などにも使う。
* 「分(part)」と同系統だが別字。「份」自体は4画と比較的シンプル。

1. procent（パーセント）

* 百分
* 「パーセント」を中国語で表す際「百分比」「百分之～」などが一般的。最短で「百分」が妥当。
* 「百」は新規（6画）。「分」は(9)ですでに登場し、学習コスト低減にも寄与。

1. proporci（割合・比率）

* 比
* 「比」は「AとBを比べる」「比率」などに使われ、簡潔に「割合」を表せる。
* 新規導入(4画)で画数は少ない。

1. etaĝ（階）

* 层
* 中国語の「楼层(階層)」「一层(1階)」などで使われる簡体字。
* 新規導入(7画)。日本語「層(層)」の簡体形で視覚的にも近い。

1. tavol（層）

* 层
* 「層」「階層」の意で同じ漢字を流用。実際中国語でも「一层」「多层」などで“層”全般を指す。
* (13)と同字を再利用して学習コストを抑える。

1. faz（位相・フェーズ）

* 相
* 物理用語の「相位」「相(位相)」「相変化」など“フェーズ”や“状態”を表すのに用いられる。
* 新規導入(9画)。文脈により「阶段」(段階)とも使われるが、短くするため単字「相」を採用。

1. ŝtup（(階段の)段・ステップ）

* 阶
* 「台阶(階段)」「阶梯(はしご)」などに使われる“段差”のイメージ。
* 新規導入(6画)。「段」と使い分けることで(1)との混同を防ぐ。

1. stadi（段階）

* 阶段
* 中国語で「段階」「ステージ」を示す定番表現。すでに出た「阶」と「段」を組み合わせる。
* 「阶」は(16)で既出、「段」は(1)で既出。2文字熟語だが追加漢字なし。

1. grad（程度・度合い）

* 度
* 中国語で「难度(難易度)」「温度」「高度」など“程度・度合”を表す最も代表的な一字。
* 新規導入(9画)。日本語でも「～度」で「程度」「温度」等を連想しやすい。

1. rang（地位・ランク）

* 级
* 中国語で「等级」「级别」といった“ランク”を表す際の単字。
* 新規導入(6画)。日本語でも“～級”という表現があるため、対応しやすい。

1. polic（警察）

* 警
* 「警察(公安)」「警官」などの核心部分。1文字で“警察・警戒”の概念を想起しやすい。
* 新規導入。画数は多め(敬+言偏)だが、わかりやすい単語。

1. ministeri（(政府の)省・省庁）

* 部
* 中国語で各省庁(“部”)を示す時、「教育部」「外交部」等が一般的。日本語の「省」と異なるが“内閣の各省”に近い働き。
* 新規導入(部首「阝」などの組み合わせ)。後述のdepartementでも使い回す。

1. departement（[政]部）

* 部
* 「部署」「部門」の意。すでに(21)と同じく「部」を再利用可能。
* (21)既出文字を流用し、学習コストを抑える。

1. kontor（事務室・オフィス）

* 办
* 「办公室(オフィス)」「办事(処理する)」などの核心部分。
* 新規導入(4画)。簡潔で「オフィス」関連を連想しやすい。

1. kabinet（[政]内閣）

* 阁
* 中国語の「内阁(内閣)」で用いられる主要漢字。1文字で“閣”を想起させる。
* 新規導入(9画)。日本語でも「～閣」として使われる字。

1. kancelari（[政]官房）

* 官房
* 「官房長官」などに見られるように、中国語でも「官房」は“公的な官庁の部屋・機関”を指し得る。1文字化は困難。
* 「官」「房」ともに新規導入(それぞれ8画)。やむを得ず2文字熟語を採用。

kvartal / 区 /

* + 理由: 「市区」「街区」の意味に近く、日本語でも「○○区」で馴染みがあり、中国語でも行政区域を示す字として通用。画数が少なくわかりやすい。
  + 学習コスト: 後続の “distrikt” と同じ字を使うことで字数削減。

1. distrikt / 区 /
   * 理由: [政]地区を表す語。上記“kvartal”と同義近接であり、重複使用が可能。
   * 学習コスト: 「区」でまとめることで文字数を抑えられる。
2. kanton / 郡 /
   * 理由: フランスの “cantons” は日本語の「郡」に近いイメージ。現代中国で行政単位「郡」は一般的ではないが、歴史的用法や日本語での“郡”を考慮するとわかりやすい。
   * 学習コスト: 新出字だが「県(县)」との使い分け用。
3. provinc / 省 /
   * 理由: 中国語でも「省」は最も代表的な“province”の訳。日本語圏でも「省（しょう）」として馴染みがある。
   * 学習コスト: 単画数は少なくはないが、“省”は常用漢字で認知度が高い。
4. guberni / 县 /
   * 理由: エスペラント原義が「県」に近い概念。日本語の“県”に相当し、簡体字では “县” を用いる。
   * 学習コスト: 画数7画で比較的少なめ。“郡”と区別するため新出。
5. sekci / 部 /
   * 理由: 「部」「部門」「部署」などの感覚に近く、中国語・日本語ともに「部」は「セクション」「部署」を連想しやすい。
   * 学習コスト: 常用字であり認知度が高い。
6. fili / 支 /
   * 理由: “branch”=「支部」「分支」をイメージ。1文字で「支」をあてると簡便に「枝分かれ」「支える」のニュアンスを表現できる。
   * 学習コスト: 画数わずか4画と少なく、再利用もしやすい字。
7. parti / 党 /
   * 理由: 政党(党派)を直接表す字として「党」が最適。中国語でも「党」は“政党”の意味で通用。
   * 学習コスト: 常用字。やや画数は多め(10画)だが意味との対応が明瞭。
8. trup / 团(團) /
   * 理由: 劇団・集団・軍隊の部隊など「団体」を示すときに用いる。簡体字は「团」。
   * 学習コスト: 「团」は6画でシンプル。日本語の「団」とほぼ同形。
9. rot / 队 /
   * 理由: 中隊や小隊、チーム的なまとまりを示す。軍事用語として「隊」はぴったり。
   * 学習コスト: 「隊」の簡体字「队」は4画＋2画で計6画。比較的覚えやすい。
10. taĉment / 队 /
    * 理由: 分遣隊・分隊なども「隊」で統合可能。上記“rot”との重複使用。
    * 学習コスト: 同じ「队」を用いることで文字数を減らす。
11. karusel / 转马 /
    * 理由: 中国語の「旋转木马（メリーゴーラウンド）」の略的イメージ。“回転木馬”を2文字で圧縮して「转马」とした。
    * 学習コスト: 「转」(8画) +「马」(3画)=合計11画で比較的短縮。既出の「马」と互換。
12. kabriolet / 马车 /
    * 理由: 小型二輪馬車だが、細かい区別を省き「马车(馬車)」の一種としてまとめる。
    * 学習コスト: 「马(馬)」と「车(車)」はいずれも他の語根でも登場しており再利用が多い。
13. velociped / 单车 /
    * 理由: 古い型の自転車（ヴェロシペード）だが、現代的には「自転車」の一種という扱いで “单车” に集約。
    * 学習コスト: 「单车」は「自転車」の意味で使われることが多く、比較的画数も少ない(“单”8画+“车”4画)。
14. bicikl / 单车 /
    * 理由: 同じく「自転車」。velociped と同じ漢字で重複割当。
    * 学習コスト: 同一の “单车” にまとめて学習負荷削減。
15. tandem / 双人车 /
    * 理由: 二人乗り(タンデム)自転車をイメージ。「双人车」で概ね伝わる。
    * 学習コスト: 「双」(4画)と「人」(2画)、「车」(4画)で合計10画ほど。既出の「车」を再利用。
16. fiakr / 马车 /
    * 理由: 辻馬車（ハイヤー的な貸馬車）だが、便宜上「马车」にまとめる。
    * 学習コスト: (13)のkabrioletと同じ表記にすることで、新字を増やさない。
17. kaleŝ / 马车 /
    * 理由: 四輪馬車だが、やはり「马车」で集約し簡略化。
    * 学習コスト: 同上。
18. kariol / 马车 /
    * 理由: 二輪無蓋馬車だが、上記と同様に「马车」。
    * 学習コスト: 馬車系をすべて「马车」で統一。
19. vagon / 车厢 /
    * 理由: 鉄道車両(車両区画)のイメージに最も近い表現。「车」＋「厢」(車箱)で“車両”を明確に示せる。
    * 学習コスト: 「车」は既出。新出の「厢」は画数多めだが、1語のみ対応。
20. kamion / 卡车 /
    * 理由: トラックの標準訳。中国語で「卡车」は非常に一般的。
    * 学習コスト: 「车」は再利用。「卡」は2画で比較的少ない。
21. lokomotiv / 机车 /
    * 理由: 機関車は中国語で「机车」とも言う(台湾でオートバイを指す用法もあるが、鉄道用語でも通じる)。
    * 学習コスト: 「车」は既出、「机」も常用字である程度覚えやすい。
22. trajn / 火车 /
    * 理由: 列車=中国語「火车」。“火”が動力(蒸気時代の名残)を連想させるが、現代でも列車全般を指す。
    * 学習コスト: 「车」再利用。
23. tram / 电车 /
    * 理由: 市街電車=中国語「电车」。日本語では「電車」と言えば広範だが、中国語では有軌電車も「电车」で通じる。
    * 学習コスト: 既出の「车」を再利用。
24. ĉar/um## / 推车 /
    * 理由: 手押し車・手推し車は中国語で「手推车」だが、少し省略して「推车」でも“押し車・ベビーカーなど”含め推す車の意が伝わる。
    * 学習コスト: 新出の「推」はやや画数多いが、後半の「车」は再利用。

aŭtobus

* + 提案: 巴士
  + 選定理由: 中国語では「巴士」は外来語表記として定着しており、バスを連想しやすい。また日本語話者も「バス」の音訳だと分かりやすい。
  + 既出や学習コスト: 「巴」「士」は他で流用していないが、2文字で簡潔に「バス」と伝わりやすい。

1. aŭt
   * 提案: 车
   * 選定理由: 簡体字で最も基本的な「車（繁体）→车（簡体）」は“車両”全般を連想しやすく、画数も少ない。
   * 既出や学習コスト: 後述の「aŭtomobil」「konduktor(車掌)」等で「车」を再利用可能。
2. aŭtomobil
   * 提案: 车
   * 選定理由: 「aŭt」と同様、実質的に「自動車」を意味するため同じ割り当てにして学習コストを抑える。
   * 既出や学習コスト: 既に「车」を割り当て済み。
3. pneŭmatik (タイヤ)
   * 提案: 轮胎
   * 選定理由: 中国語でタイヤを表す標準的な語が「轮胎」。1文字だけでは「輪(车轮=車輪)」や「胎」単独では別の意味との混同も大きいため、2文字熟語を推奨。
   * 既出や学習コスト: 「轮」「胎」は新出だが、タイヤを直感できる表現としては妥当。
4. pedal (ペダル)
   * 提案: 踏板
   * 選定理由: 中国語でペダルと言えば「踏板」が一般的。単に「踏」だけでは「踏む」という動詞イメージが強いため、2文字が望ましい。
   * 既出や学習コスト: 「踏」「板」ともに新出だが、ペダルと分かりやすい。
5. pivot (ピボット)
   * 提案: 轴
   * 選定理由: 中国語で「軸」「ピボット」的な中心軸を示すときに「轴」を使うことが多い。「枢」(要)も候補だが、機械的な回転軸には「轴」のほうが自然。
   * 既出や学習コスト: 初出だが1文字で済む。
6. lift (エレベータ)
   * 提案: 电梯
   * 選定理由: 中国語でエレベータは「电梯」が標準的。1文字の「梯」だけだと「はしご」「階段」の意味が強い。
   * 既出や学習コスト: 「电」「梯」ともに新出だが、エレベータを表す標準語として有力。
7. traktor (トラクター)
   * 提案: 拖拉机
   * 選定理由: 中国語でトラクターは「拖拉机」。1文字では適切に表現できないため、3文字の標準形を採用。
   * 既出や学習コスト: 「拖」「拉」「机」はここで新規。ただし「机」は後述(司机)でも重複利用。
8. konduktor (車掌)
   * 提案: 车掌
   * 選定理由: 日本語由来の「車掌」は中国語では一般的ではないが、意味としては「車内で乗客対応をする人」を示唆しやすい。より現代的には「售票员」等もあるが字数が増える。
   * 既出や学習コスト: 「车」は既出。「掌」は新出だが2文字に抑えた。
9. ŝofor (運転手)

* 提案: 司机
* 選定理由: 中国語で自動車の運転手・ドライバーを表す代表的な単語は「司机」。
* 既出や学習コスト: 「司」「机」は「机」がtraktorの「拖拉机」と重複。

1. pasaĝer (乗客)

* 提案: 乘客
* 選定理由: 中国語の標準表現。「乘」は“乗る”という意味合いがあり、「客」は客・乗客。日本語でも「乗客」は想像しやすい。
* 既出や学習コスト: 新出「乘」「客」2文字。だが分かりやすい。

1. kamp (野原・田地)

* 提案: 田
* 選定理由: 「田」は筆画が少なく「畑・田園」として直感的。「野」を使うと画数が増える。
* 既出や学習コスト: 1文字のみ、新出だが画数5で容易。

1. bivak (野営)

* 提案: 营
* 選定理由: 中国語で「营」単独は「キャンプ・営地」のニュアンス(軍営含む)がある。2文字にすると「营地」「露营」などになるが、1文字の「营」でコンパクトに表せる。
* 既出や学習コスト: 新出「营」。

1. dezert (砂漠)

* 提案: 漠
* 選定理由: 砂漠全体を一文字で示すなら「漠」が最も直接的。「沙」は単に砂の意味が強く、「沙漠」だと2文字になる。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出だが意味は明確。

1. val (谷)

* 提案: 谷
* 選定理由: 中国語・日本語ともに「谷」は「谷間」「渓谷」を思い起こしやすい。画数も少ない。
* 既出や学習コスト: 1文字のみ、新出。

1. marĉ (沼・湿地)

* 提案: 沼
* 選定理由: 中国語だと「沼泽」が一般的だが、1文字で沼(ぬま)を示すなら「沼」。日本語話者にも“ぬま”と伝わりやすい。
* 既出や学習コスト: 1文字のみ、新出。

1. bran (ふすま)

* 提案: 麸
* 選定理由: 「麸」は本来“麩(小麦由来の加工食品)”の意味だが、中国語では「麸皮」として“ふすま”とも関連づける。単独なら簡潔。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出。

1. stopl (刈株・穀物を刈ったあとの株)

* 提案: 茬
* 選定理由: 中国語で「茬」は“刈り取った後の残り株”を指す語。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出。

1. ŝpat (すき＝[農]プラウ)

* 提案: 犁
* 選定理由: 中国語で犂(簡体字も同形)は“土を耕すすき・犂”を表す代表的な一文字。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出。筆画4と少なく分かりやすい。

1. pajl (わら)

* 提案: 秸
* 選定理由: 中国語で「秸」(穀物などの茎・わら)を指す場合がある。厳密には「麦秸」「秸秆」など2文字が多いが、一文字で済ませるなら「秸」。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出。

1. herb (草)

* 提案: 草
* 選定理由: 中国語・日本語共に「草」で“草・ハーブ”を連想しやすい。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出だが直感的。

1. fojn (干し草)

* 提案: 干草
* 選定理由: 中国語の標準的表現は「干草」。1文字では成立しないため2文字熟語を採用。「干」は“乾燥した”、 「草」は既出。
* 既出や学習コスト: 「干」は新出（3画）、「草」はすでに割当あり。

1. sterk (肥料)

* 提案: 肥
* 選定理由: 本来「肥料」は2文字だが、一文字「肥」でも農業文脈なら“肥やし”を想起しやすい。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出(8画)。比較的簡潔。

1. furaĝ (まぐさ・飼料)

* 提案: 饲
* 選定理由: 標準語は「饲料」だが、2文字になるため、ここでは「饲」(飼う・飼料)を用いて簡潔に表現。
* 既出や学習コスト: 1文字(8画)だが初出。

1. erp (まぐわでならす＝[農]耙などで耕す)

* 提案: 耙
* 選定理由: 中国語で「耙」は耙(くまで・まぐわ)の意。ハローで土をならす動きに相当。
* 既出や学習コスト: 1文字、新出。

plug / 耕 / 「耕」は「耕す・耕作する」を直接表すため / 日本語・中国語ともに馴染みやすい単字で、学習コストも比較的低い

1. sark / 锄 / 「锄」は「鍬(くわ)・除草する」の意味で、除草のニュアンスに近い / 「耕」と同じ農業系語彙でまとめやすい。金偏(钅)はやや新出だが、画数は比較的少ない
2. riz / 米 / 「米」は日中ともに「米」の意味で直感的 / 既出の農耕系漢字との親和性が高く、画数(6画)も少ない
3. tritik / 麦 / 中国語では小麦を「小麦」とも言うが、単字の「麦」で穀物(特に小麦系)を広く表せる / 日本語でも「麦」の字は認知度が高い
4. sekal / 黑麦 / ライ麦を指す代表的な名称が「黑麦」のため / 単字での対応が難しく、2文字熟語で対応
5. gri / 碎麦 / 「grits, coarse meal」に対応しうる簡体字1文字がなく、「碎麦」は「砕いた麦」の意味合いで比較的近い / 2文字だが、「麦」を再利用して学習コストを抑える
6. gren / 谷 / 「谷」は中国語で「穀物」を指す場合があり(「谷物」の略)、日中とも比較的理解しやすい / 画数(7画)も比較的少ない
7. grajn / 粒 / 「粒」は「粒状のもの」「種子」などの意味があり、穀粒に近い / 「谷」「麦」などと組み合わせてイメージしやすい
8. agronom / 农学家 / 「農学者」を端的に表す一般的な語 / 「农(農)」「学」「家」はいずれも馴染み深く、やや長いが標準的
9. agronomi / 农学 / 「農学」に相当 / 2文字で短く、前項(农学家)とも関連付けしやすい
10. vegetar / 素 / 「素」は「素食(ベジタリアン)」の略イメージとして使われる / 一文字で「菜食・ベジタリアン」の概念を想起しやすい
11. legom / 菜 / 「蔬菜(野菜)」の略として「菜」を採用 / 日中で「野菜」を連想しやすく、画数(11画)も許容範囲
12. burĝ / 中产 / 「ブルジョワ(中産階級)」を表すには「中产阶级」が一般的だが、短縮して「中产」でも中産階級を連想できる / 一定の省略だが、漢字1文字化は困難のため2文字
13. hebre / 希伯来 / ヘブライ人を表す代表的表記が「希伯来人」だが、やむを得ず3文字以上になるため「希伯来」を中心に / 漢字1文字化は不可
14. humil / 谦 / 「謙虚」を示す「谦」(旧:謙)を採用 / 一文字で「謙虚」を想起でき、学習コストも比較的低い
15. modest / 谦 / 「控えめ・謙虚」を意味する漢字に再度「谦」を流用 / 新たな文字を増やさず、学習負担を抑える
16. naiv / 天真 / 「無邪気・純真」の意味にもっとも近い熟語 / 単字対応が難しく2文字熟語で
17. trivial / 俗 / 「俗」は「俗っぽい・野卑な・凡庸な」というニュアンスがある / 画数9画で比較的覚えやすい
18. arogant / 傲 / 「傲」は「傲慢」の「傲」で、横柄・高慢の意味に近い / 1文字で「横柄さ」を連想しやすい
19. neŭtr / 中性 / 「中性」の標準的表記 / 単字「中」では意味が曖昧になるため2文字で対応
20. neŭtral / 中立 / 「中立」の標準的表記 / 2文字化はやむを得ない
21. kripl / 残疾 / 「不具の(肢体不自由など)」は中国語で「残疾」が一般的 / 「残」単独ではニュアンス不足のため2文字
22. invalid / 残疾人 / 「廃疾者(身体障害者)」を指す一般表現 / 「残疾」の上に「人」を付すことで人を示す
23. blind / 盲 / 「盲」は「盲目」の意味を直接表す / 画数(8画)は多くなく、日本語の「盲」と共通
24. surd / 聋 / 「聋」は「耳が聞こえない・ろう者」の意味を示す / 画数やや多め(14画)だが単字で意味がまとまる

mut / 哑 /

* 選定理由: 「哑」は「啞(唖)」の簡体字で、｢口がきけない＝唖の･音を発しない｣という意味を直接表す。日本語話者にも「唖」との対応で概ね理解しやすい。
* 学習コスト: 口偏＋亚(簡体)で比較的覚えやすい。
* nud / 裸 /
* 選定理由: 「裸」は「裸の／裸体」の意味で日中双方に通じる。
* 学習コスト: 衣偏＋果で構成され、日本語圏でも「裸」と同形。
* barbar / 蛮 /
* 選定理由: 「蛮」は「野蛮」「蛮族」の「蛮」の簡体字と同形で、「未開・野蛮」のニュアンスを示す。
* 学習コスト: 虫偏＋「亻」形に似たパーツを含むが、日本語「蛮」も同一形で違和感が少ない。
* sortiment / 集 /
* 選定理由: 「集」は「集める・収集・集合」の意味。見本一式、まとまった「コレクション・品揃え」を連想しやすい。
* 学習コスト: 日中双方で「集まる」の字として馴染み深い。
* ekzempl / 例 /
* 選定理由: 「例」は「例子」「例示」の意で日中共通。「たとえば／例示」の感覚で使いやすい。
* 学習コスト: 単字で「例」のみ。画数も比較的少ない。
* specimen / 样 /
* 選定理由: 「样(樣)」は中国語で「样品(サンプル)」「样本(標本)」の語幹となる字。「サンプル・見本」のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 日本語の「様」の簡体字であり、若干意味ズレはあるが連想しやすい。
* model / 型 /
* 選定理由: 「型」は「模型」「型式」などを意味し、中日とも「モデル・型」の概念で通じる。
* 学習コスト: 日常的に使われる字で比較的画数も少なめ。
* prototip / 原型 /
* 選定理由: 単字化が難しいため2文字熟語「原型」を採用。日中とも「prototype＝原型」として共通認識しやすい。
* 学習コスト: 「型」は上記(7)と共通で再利用。「原」は比較的よく出る字。
* konspir / 谋 /
* 選定理由: 「谋(謀)」は「陰謀・謀る」の意味をもち、「conspire, plot」に相当。
* 学習コスト: 日中共通の字形(日本語は旧字「謀」)として認識可能。
* intrig / 谋 /
* 選定理由: (9)と同じく「陰謀を企てる」の意で重複割当。「谋」で対応。
* 学習コスト: 同字再利用により学習負担削減。
* komplot / 谋 /
* 選定理由: 「komplot＝陰謀・共謀」も同義語系統なので「谋」を再利用。
* 学習コスト: 同字一括で処理。
* program / 程序 /
* 選定理由: 中国語で「程序」は「(コンピュータ)プログラム」「進行手順」「番組の進行表」などの意味。日本語話者も「程」「序」の組合せで「手順・プログラム」を推測しやすい。
* 学習コスト: 単字で明確な「program」の意を出すのは難しく、2文字熟語を選択。
* plan / 计划 /
* 選定理由: 中国語で「计划」は「計画」に相当。単字「计」だけだと「計る・数える」の含みが強いので、2文字でより明確化。
* 学習コスト: 「计」と「划」の組合せ。どちらも簡体字で画数は比較的少なめ。
* projekt / 企划 /
* 選定理由: 中国語で「企划」は「企画」に相当。単字「項(项目)」等も考えられるが、「企画」との対応としてわかりやすい。
* 学習コスト: 「划」は(13)と同じ簡体字を再利用し、「企」は初出。
* manifestaci / 示威 /
* 選定理由: 「示威」は「デモ・示威行動」を表す標準的な2字熟語。政治的デモの意味に近い。
* 学習コスト: 「示」は初出だが画数少なめ。「威」はやや多めだが定番。
* spektakl / 演 /
* 選定理由: 「演」は「演じる／上演／演出」等を表し、見せ物・パフォーマンスのニュアンスに近い。
* 学習コスト: 単字での対応。日本語でも「演奏」「演劇」などで見慣れている。
* ekspozici / 展 /
* 選定理由: 「展」は「展示・展覧会」の意味をもつ字。日中とも「展覧」「展示」で共通イメージ。
* 学習コスト: 単字でわかりやすく、画数も多くはない。
* aper / 现 /
* 選定理由: 「现(現)」は「出現する・現れる」の意がある。単独では「現在」の意味合いもあるが、「出现」などで「現れる」に通じる。
* 学習コスト: 日本語「現」の簡体字。発想しやすい。
* prezent / 呈 /
* 選定理由: 「呈」は「差し出す・進呈する・呈示する」の意を持ち、「贈る」「提示する」に近い。
* 学習コスト: 日中双方で「呈示」「進呈」の熟語があり比較的推測が容易。
* afekt / 伪 /
* 選定理由: 「伪(偽)」は「偽る・見せかける」の意味が明確。「pretend, feign, affect」のニュアンスに近い。
* 学習コスト: 日本語「偽」の簡体字。画数も少なめ。
* gest / 手势 /
* 選定理由: 「手势」は「手振り・ジェスチャー」を表す標準的表現。単字で「gesture」を示す適合字はなく2文字熟語化。
* 学習コスト: 「势(勢)」は初出だが、今後「姿勢」などでも活用可能。
* poz / 姿 /
* 選定理由: 「姿」は「姿勢・ポーズ・身のこなし」のニュアンスがあり、「ポーズをとる」に近い意味合いとして使える。
* 学習コスト: 日中とも「姿勢」「容姿」などで共通する字。
* kondut / 行 /
* 選定理由: 「行」は「行動する」「振る舞う」の含み。日本語でも「行動」「行い」等から「ふるまい」を連想しやすい。
* 学習コスト: 既出ではないが画数が少なく、最初期に習う漢字で認知度も高い。
* sin/ten## / 态 /
* 選定理由: 指定の「態度」に関連し、簡体字「态(態)」は「態度・様子」を示す。「姿勢」(22)ともやや近いが「心の構え・振る舞いのモード」には「态」が適切。
* 学習コスト: 日本語の「態」の簡体字。字形も比較的シンプル。
* impres / 印象 /
* 選定理由: 「印象」は中国語でも「impression」の基本表現。単字「印」「象」それぞれでは別の意味が強いため2字熟語に。
* 学習コスト: 「印」は4画、「象」は11画とやや多めだが、セットでわかりやすい。

### 1) efekt

swift

Copy

efekt/效/「效果」「効力」などと同源で“効果・影響”を連想しやすい/画数8、日中ともに「効(日本)」「效果(中国)」などで比較的理解しやすい

* 理由: 「效果(effekt)」の核心を表す簡体字として「效」を選択。日本語の「効」に相当し、効果・作用を連想しやすい。

### 2) emoci

swift

Copy

emoci/感/「感動」「感情」を連想、情動的ニュアンスに合う/既出の「感」を今後も使い回せば学習コストを抑えられる

* 理由: 「感動」「感情」と非常に結びつきが強い漢字。「感」は日本語でも“感じる”“感動”の要素を含み、両言語話者とも直観しやすい。

### 3) sensaci

swift

Copy

sensaci/惊动/「驚かせる・大きな話題を呼ぶ」の意味が近い/「惊」は“驚”、日中で通じやすいが2文字熟語でより明確に

* 理由: 「sensaci」は“センセーショナル”“大きな騒ぎを起こす”ような意味。「惊动(驚動)」なら「人を驚かす／騒ぎを起こす」ニュアンスが出る。
* 学習コスト: 「惊(驚)」「动(動)」はどちらもよく使う簡体字なので、中国語圏では理解しやすい。日本語圏でも「驚」「動」でイメージ可能。

### 4) simpati

swift

Copy

simpati/共感/「共感」「同感」を直接表す2文字熟語/「感」は既出

* 理由: 日本語で「共感」、中国語でも「共同の感情」として意味は伝わりやすい（口語では「同情」と言う場合もあるが“哀れみ”に寄りがち）。
* 学習コスト: 「共」は画数が少なく、日本語でも「共通」「共和」などで馴染みが深い。既出「感」と組み合わせることで新出偏旁を最小限に。

### 5) sent

swift

Copy

sent/感/「感じる」の意で「感」を再利用/すでに「emoci」でも使ったが意味合いも近く大きな齟齬なし

* 理由: 「sent」は“(を)感じる”動詞、「emoci」は強い感動や感情。厳密には違うが、簡体字1文字で区別が難しいため「感」にまとめ学習コストを削減。
* 学習コスト: 既出の「感」を使い回すことで、新たな漢字を増やさない。

### 6) sens

swift

Copy

sens/感/名詞「感覚」「感性」などに当たるが、同じく「感」を流用/動詞“sent”との区別は文脈依存

* 理由: 「感覚」「センス」の核は「感」。中国語でも「感觉(感覺)」に含まれる要素。
* 学習コスト: 既存の「感」を再利用。

### 7) kandidat

swift

Copy

kandidat/候选/「候选人」の略。候補を意味/「候」「选」はいずれも日本語話者にも類推しやすい

* 理由: 中国語の「候选人」が「候補者」に近い意味。
* 学習コスト: 「候」は画数10、「选」(=「選」の簡体)は9画。今後「选」を“選ぶ”などに再利用予定。

### 8) elekt

swift

Copy

elekt/选/「選ぶ・選択する」の意でそのまま簡体字「选」に/既出の「选」を再利用

* 理由: 中国語「选择(選擇)」のコア部分で「选」は“選ぶ”を象徴する字。
* 学習コスト: すでに「候选」で使った「选」を再利用。

### 9) balot

swift

Copy

balot/投/「投票」(vote)の“投”を抜き出し/日本語でも「投票」でイメージしやすい

* 理由: 「投票」の前半。単字だと「投げる」意味もあるが、中国語では「投票」の略として十分連想可能。
* 学習コスト: 画数7と比較的少なめ。

### 10) pet

swift

Copy

pet/请/「請う・頼む」に相当。「请」は“お願いする”や“どうぞ～してください”の丁寧表現にも/後述の「招待」意味とも重複可

* 理由: 中国語では「请」は「どうぞ～」「頼む」「～してもらう」など多義。日本語話者にも「請う」が想起しやすい。
* 学習コスト: 画数10。後述の「invit(招く)」などにも転用可能。

### 11) postul

swift

Copy

postul/要/「要求」「要望」の核心。「要」は日本語で“要る”とも結びつく/画数も少なく強めの要求を表現

* 理由: 「要」は“必要とする・要求する”ニュアンスがあり、postul(強く求める)に合う。
* 学習コスト: 画数9。非常に頻用される字で馴染み深い。

### 12) demand

swift

Copy

demand/问/質問・問いかけ。「问」は“問う”に相当/画数少なく分かりやすい

* 理由: 中国語「问」は日本語「問」の簡体。動詞として「質問する」の最も基本的な字。
* 学習コスト: 画数6。

### 13) interpelaci

swift

Copy

interpelaci/质询/議会などで公式に大臣を質すイメージ。「质询」が“質疑・追及”に近い/「询」は後述で再利用予定

* 理由: 中国語「质询」は公式な場での質問・弁明要求。「interpelation」と一致度が高い。
* 学習コスト: 「质」(8画)＋「询」(5画)。うち「询」は下記「konsult」にも再利用。

### 14) rekomend

swift

Copy

rekomend/荐/「推荐」の後半字。「荐」は“薦める”本義/単字だとやや古風だが「推薦」との関係が分かりやすい

* 理由: 中国語「推荐」で使われる「荐」。日本語でも「薦(すす-める)」に相当し、意味対応が取りやすい。
* 学習コスト: 画数8。

### 15) propon

swift

Copy

propon/提/「提案」「提議」の“提”を単字化/「手で持ち上げる→提示・提出する」の連想も容易

* 理由: 「提案」「提議」が原義に近い。日本語話者も「提案」によって“申し出る”を想像しやすい。
* 学習コスト: 画数12。

### 16) konsil

swift

Copy

konsil/劝/「勧める」「助言する」の意。中国語「劝告」とほぼ同義/画数も少なく“助言”を示唆

* 理由: 「劝」(伝統的には「勸」)は「忠告・助言・説得する」意味。konsilの「助言する」に近い。
* 学習コスト: 簡体で7画と比較的少ない。

### 17) konsult

swift

Copy

konsult/询/「咨询」「询问」のコア。「询」は“尋ねる・相談する”ニュアンス/既出の「质询」と同字を再利用

* 理由: 中国語「咨询(コンサル)」「询问(質問・問い合せ)」の部分にあたる。「询」単体で“尋ねる・相談する”含意がある。
* 学習コスト: 既出の「询」を再利用。

### 18) varb

swift

Copy

varb/招/「募集する」の核心。「招募」とも言う/「招」は日中ともに“招く・募集する”意が伝わりやすい

* 理由: 中国語「招募(募る)」「招聘(採用募集)」などで使う字。
* 学習コスト: 画数8。口偏や手偏ほど頻出ではないが、意味の一致度が高い。

### 19) vok

swift

Copy

vok/呼/「呼ぶ・呼びかける」に直接対応/日中ともに“呼吸”“呼号”などで親しみやすい

* 理由: 「呼喊(叫ぶ)」「呼唤(呼びかける)」などに使い、“声を出して呼ぶ”イメージが強い。
* 学習コスト: 画数8。

### 20) invit

swift

Copy

invit/请/「招待する」の意にも使える多義字。「请客」で“客を招く”/既出の「请」を再利用

* 理由: 中国語で「请(人)吃饭」は“食事に招く”など多用される。すでに「pet(頼む)」にも割り当て済み。
* 学習コスト: 新規増やさず、同じ「请」を再利用。

### 21) intervju

swift

Copy

intervju/访/「访问」「采访」など“インタビュー”ニュアンス/日本語では「訪問」を連想可能

* 理由: 中国語で「采访」は“(記者が)インタビューする”の意味。単字「访」(訪)には“訪ねる”ニュアンスが含まれ、比較的連想しやすい。
* 学習コスト: 画数6。「问」と部首が似ており関連性を感じやすい。

### 22) preleg

swift

Copy

preleg/讲/知識的な講演・講義。「讲课」や「演讲」の要素/次の「lekci」も同字に統一し学習コストを減らす

* 理由: 中国語「讲课(講義をする)」「演讲(講演)」の“讲”部分が核。
* 学習コスト: 画数6。講義や演説の場面を一括して表せる。

### 23) lekci

swift

Copy

lekci/讲/「講義」を表すが、prelegと同字で集約/文脈で使い分ける想定

* 理由: 「lekci」は主に“講義”として使うが、「講演(preleg)」と重なる部分も大きいので「讲」に統一。
* 学習コスト: すでにprelegで「讲」を使用。

### 24) dialog

swift

Copy

dialog/话/「対話→对话」の核心文字。「话」は“話・語り”を表す/口偏で会話を連想しやすい

* 理由: 中国語「对话(対話)」「话语(言葉)」などの“话”。単字化すると「話」の意。
* 学習コスト: 画数7。

### 25) babil

swift

Copy

babil/聊/「闲聊(雑談)」「聊天(チャット)」などの核心/「聊」は“ちょっと語る”ニュアンス

* 理由: 中国語で「聊天」「闲聊」の“聊”。日本語でも「聊か(いささか)」など痕跡的に使われるが、“おしゃべり”の字と覚えやすい。
* 学習コスト: 画数11。雑談に特化したイメージが強い。

parol

* + 提案漢字: 说
  + 選定理由: 現代中国語で「話す」を意味する最も基本的な動詞。「言(ことば)」に近いイメージ
  + 学習コスト: 以後、同じ「说」を「話す系」語根で再利用する可能性がある

1. konversaci
   * 提案漢字: 说
   * 選定理由: 「会話する」「しゃべる」系は、大まかに「言葉を交わす」意味合いなので parol と同じ 说 を再利用
   * 学習コスト: parol と同じ字を使うことで学習コストを削減
2. polemik
   * 提案漢字: 辩
   * 選定理由: 「辩(弁)」は「言い争う」「論じ合う」を広くカバーする語。特に書面上・討論等での論争イメージに合う
   * 学習コスト: 「讠(言へん)」+「辛」部分からなる字で、後述の debat とも共用
3. disput
   * 提案漢字: 争
   * 選定理由: 「争(あらそ)う」「争い」を意味する基本漢字。日本語でも「争う」という意味で直感的
   * 学習コスト: 画数は6画と比較的少なく、既出の「讠」偏とは異なるが、後述の kverel と分けることでニュアンスを区別
4. kverel
   * 提案漢字: 吵
   * 選定理由: 中国語で「口論する」「騒がしく言い争う」という意味。より感情的・口喧嘩的なイメージ
   * 学習コスト: 口(くち)へん+少。比較的シンプルだが、日本語ではやや見慣れないかもしれない
5. diskut
   * 提案漢字: 议
   * 選定理由: 「讨论(討論)」「商議」のように、「(内容を)議論する」ニュアンスを持つ簡体字
   * 学習コスト: 「讠」(言へん) +「义」の組み合わせ。5画と画数も少なく、他の言へん系とも関連付けやすい
6. debat
   * 提案漢字: 辩
   * 選定理由: 「debate」に相当する。「polemik」と同じく「辩」を使い回し、討論系の漢字をなるべく集約
   * 学習コスト: polemik と同じ字を再利用することで重複を減らす
7. boks
   * 提案漢字: 拳
   * 選定理由: 「拳(こぶし)」そのものを指す漢字で、日本語でも「拳闘」はボクシングの意
   * 学習コスト: 「拳」はやや画数(10画)が多いが、「打(5画)」だと意味が広すぎるため専用感を優先
8. duel
   * 提案漢字: 决斗
   * 選定理由: 現代中国語で「决斗(決闘)」という2文字熟語が一般的。単独1文字では対応しにくい
   * 学習コスト: 「决」は「讠」や「辩」などとは偏旁が異なるが、「斗」は後述の luch / 既出の対比にも応用可
9. milit

* 提案漢字: 战
* 選定理由: 現代中国語で「戦う」「戦争する」の中心的な字(簡体: 战、繁体: 戰)
* 学習コスト: batal と同じ字を再利用すれば学習コスト軽減できるので、後述で統一予定

1. batal

* 提案漢字: 战
* 選定理由: 「戦い」「戦闘」を意味し、milit と意味が近いので同じ字に集約
* 学習コスト: milit と共通のため、追加の学習負荷なし

1. lukt

* 提案漢字: 斗
* 選定理由: 「格闘」「取っ組み合い」のイメージで単漢字にするなら「斗」が最も直接的(「搏斗」「角斗」などの要素)
* 学習コスト: すでに duel(决斗) で出現している「斗」を単独再利用し、重複を抑制

1. spur

* 提案漢字: 迹
* 選定理由: 簡体字で「迹」は「跡」「足跡」を意味する。足跡・痕跡のイメージに合致
* 学習コスト: 「走之旁(辶)」などではなく「足」へんが本来混じる字だが、「迹(跡)」は日中とも比較的わかりやすい

1. labirint

* 提案漢字: 迷宫
* 選定理由: 現代中国語で「迷宫(迷宮)」が定着。1文字では表せないため2文字熟語に
* 学習コスト: 「迷」「宫」ともに新出だが、いずれも日本語に近い形(「迷」「宮」)なので比較的わかりやすい

1. spron

* 提案漢字: 马刺
* 選定理由: 馬に乗るときの「拍車」は中国語では「马刺」と言うのが一般的(直訳: 馬の刺し具)
* 学習コスト: 「刺」単体では「突き刺す」意味が強いので、馬具のニュアンスを出すために2文字表記

1. pel

* 提案漢字: 赶
* 選定理由: 「追い立てる」「追い払う」「(牛や馬を)追い立てる」に適した動詞
* 学習コスト: 「走」の部分が変形しており、日本語話者にはやや馴染みにくいが、用途が限定的なため割り切り

1. tir

* 提案漢字: 拉
* 選定理由: 「引く」「引っ張る」を意味する最も基本的な動詞のひとつ
* 学習コスト: 日本語では「拉致」で見かける字。シンプルで覚えやすい

1. tren

* 提案漢字: 拖
* 選定理由: 「引きずる」「(地面を)擦りながら動かす」の意。tir(拉) よりも“ずるずる引く”ニュアンスが強い
* 学習コスト: 手へん+他パーツ。画数は7画だが、拉(8画)と合わせて「引く動作」を区別

1. ramp

* 提案漢字: 爬
* 選定理由: 「這う」「よじ登る」「爬行」の意味で広く使われる
* 学習コスト: 日本語の「爬虫類(はちゅうるい)」でおなじみ。同系統のイメージで覚えやすい

1. vag

* 提案漢字: 游
* 選定理由: 簡体字の「游」は「遊(あそぶ)」「漂う」「放浪する」まで含む幅広い動き。彷徨に近いニュアンスも可
* 学習コスト: 元は「遊(ユウ)」。日本語での「遊び」「遊泳」などを連想しやすい

1. salt

* 提案漢字: 跃
* 選定理由: 「跳躍」(繁体: 躍)の簡体字。跳ぶ・跳び上がるニュアンスに合致
* 学習コスト: 「跳(tiào)」より画数が少ない(跃は9画、跳は13画)

1. glit

* 提案漢字: 滑
* 選定理由: 「すべる」「滑走する」の意味の代表格。溜冰(スケート)等にも関連しやすい
* 学習コスト: 日本語の「滑る」に対応しており、形もほぼ同じ

1. plonĝ

* 提案漢字: 潜
* 選定理由: 簡体字では「潜水」(ダイビング)の「潜」。そのまま「潜る」ニュアンス
* 学習コスト: 日本語でも「潜る」「潜在」などで馴染みがある

1. ŝveb

* 提案漢字: 飘
* 選定理由: 「漂う」「風に舞う」ニュアンスの簡体字。空中をふわふわ浮くイメージ
* 学習コスト: 繁体は「飄」。日本語「漂う(ただよう)」とも関連づけ可

1. rem

* 提案漢字: 划
* 選定理由: 中国語で「(船を)こぐ」「(櫂やオールで)漕ぐ」を表す。「划船」としても使われる
* 学習コスト: 「扌(手へん)＋戈(ほこ)」が簡略化した形。やや日本語話者には馴染み薄だが、単独使用可

naĝ / 泳 /

* + 選定理由: 日本語「泳(ぐ)」と同じ形で、中国語でも「游泳(yóu yǒng)」の一文字として通用。意味が「泳ぐ」と直感しやすい。
  + 既出・学習コスト: 画数も比較的少なく、共通認識しやすい漢字。

1. vad / 涉 /
   * 選定理由: 中国語の「涉水(shè shuǐ)＝水の中を渡る・歩く」の中心字。日本語では「渉(わたる)」とほぼ同形で、意味の連想もしやすい。
   * 既出・学習コスト: まだ未出の偏旁だが、使いみちはそこそこ多い字。
2. rifuĝ / 避 /
   * 選定理由: 「避难(bìnàn)＝避難する」で使われる字。日本語の「避(さける)」「避難(ひなん)」と同源で直感しやすい。
   * 既出・学習コスト: 新しい字だが、比較的ポピュラー。
3. fuĝ / 逃 /
   * 選定理由: 「逃げる」「逃走」の意。日本語も同形で、「逃(に)げる」のイメージが掴みやすい。
   * 既出・学習コスト: 今後「eskap」にも再利用予定(同義なので重複割当OK)。
4. eskap / 逃 /
   * 選定理由: 「逃れる」「逃脱」とほぼ同義のため、「逃」を再利用。
   * 既出・学習コスト: fuĝと同字を使い回して総数を抑制。
5. ĉas / 猎 /
   * 選定理由: 中国語「打猎(dǎ liè)＝狩りをする」の中心字。日本語「猟(りょう)」の簡体字にあたる。
   * 既出・学習コスト: 画数はやや多め(8画)だが、狩猟の概念で分かりやすい。
6. ŝtel / 偷 /
   * 選定理由: 中国語で「偷(tōu)＝盗む」の代表的な単字。日本語の「盗む(盗)」とやや形は異なるが、「偷窃」などで馴染み深い。
   * 既出・学習コスト: 新出の偏旁だが、意味上はもっとも直接的。
7. rab / 夺 /
   * 選定理由: 中国語「夺(duó)＝奪う、強奪する」。日本語「奪(うば)う」の簡体字形。
   * 既出・学習コスト: 6画と比較的少なく、わかりやすい。
8. vund / 伤 /
   * 選定理由: 中国語「受伤(shòu shāng)＝負傷する、傷」。日本語「傷(きず)」の簡体字。
   * 既出・学習コスト: 比較的画数も少なく、直感しやすい。
9. cikatr / 疤 /

* 選定理由: 中国語で「疤(bā)＝傷跡、瘢(きずあと)」を意味する代表的な字。日本語ではあまり見ないが、意味を特化している。
* 既出・学習コスト: 新しい字だが、 scar(瘢痕)を1文字で表すには適切。

1. fend / 裂 /

* 選定理由: 「裂(さ)ける」「裂縫(lièfèng)＝割れ目・裂け目」を連想。割れ目・ひび割れを端的に示す字。
* 既出・学習コスト: 漢字圏では「裂」の概念は理解しやすい。

1. breĉ / 隙 /

* 選定理由: 「すき間・割れ目」を示す字。「隙(すき)」は日本語でも同形で、breĉ(= breach, gap)に近い。
* 既出・学習コスト: やや画数が多い(13画)が、ほかに的確な一文字が少ないため選択。

1. difekt / 损 /

* 選定理由: 中国語「损坏(sǔn huài)＝損傷する・壊す」の中心字。「損」の簡体字で、日本語圏もイメージしやすい。
* 既出・学習コスト: 「扌」へん関連(他にも妨/扰など)と同系統で学習しやすい可能性。

1. frakas / 碎 /

* 選定理由: 「粉碎(fěn suì)＝粉砕する、打ち砕く」の「碎」。日本語「砕(くだ)く」の簡体字形。
* 既出・学習コスト: 形が似ており連想もしやすい。

1. romp / 破 /

* 選定理由: 「破(やぶ)る」「打破(dǎpò)＝壊す」のように、物を壊す・破壊するニュアンス。
* 既出・学習コスト: 日本語も同形なので分かりやすい。

1. detru / 灭 /

* 選定理由: 中国語「毁灭(huǐmiè)＝破滅させる・完全に破壊する」の「灭」。日本語「滅」の簡体字形。
* 既出・学習コスト: 5画と少なく、破壊のニュアンスを含む。

1. bar / 障 /

* 選定理由: 「障碍(zhàng'ài)＝障害」の中心字。日本語の「障」と同じ形で“障害・バリア”を連想しやすい。
* 既出・学習コスト: 次の“obstakl”でも再利用予定。

1. obstakl / 障 /

* 選定理由: 「障害物」を指すのにも「障」が使いやすい。重複割当で総数削減。
* 既出・学習コスト: barと同字を再利用。

1. ĝen / 扰 /

* 選定理由: 中国語「打扰(dǎrǎo)＝邪魔する、妨げる」。日本語「擾(みだ)す」の簡体字形。
* 既出・学習コスト: 初出だが、常用の妨害系偏旁「扌」に近い部首構成。

1. obstrukc / 阻 /

* 選定理由: 「阻止(zǔzhǐ)＝妨げる、阻む」の「阻」。ハンディキャップ・阻害のニュアンスを1字で表現。
* 既出・学習コスト: 8画で比較的シンプル。今後も“妨げる”類で使い回し可能。

1. ŝtop / 塞 /

* 選定理由: 「塞(sāi)＝詰める、ふさぐ、詰め物をする」。日本語「塞(ふさ)ぐ」とほぼ同形同意。
* 既出・学習コスト: 画数は少し多め(13画)だが、意味は直感的。

1. pane / 故障 /

* 選定理由: 機械やシステムのトラブル・故障を表す二字熟語。中国語でも日本語でも「故障」は通じる。
* 既出・学習コスト: 一文字で「故」or「障」では誤解の恐れが大きいため2文字を採用。

1. prokrast / 延 /

* 選定理由: 「延迟(yánchí)＝遅らせる、延期する」の中心字。「延ばす」として日本語圏にも直感的。
* 既出・学習コスト: 3画＋3画の合計6画とシンプル。

1. intermit / 间歇 /

* 選定理由: 「间歇(jiànxiē)＝断続的・間欠的」を表す標準的な二字熟語。1文字で正確には表現しにくい。
* 既出・学習コスト: 「间(あいだ)」「歇(やすむ)」は各々すでに比較的常用漢字系統。

1. paŭz / 休 /

* 選定理由: 「休(やす)む」「休止」の含意。中国語でも「休息(xiūxī)＝休む」に対応し、pause/休止のニュアンスを簡単に伝えられる。
* 既出・学習コスト: 極めて画数が少なく、学習コストも低い。

halt / 止 /

* + 選定理由: 「止」は古くから「止まる」「停止する」意をもち、中国語でも「停止」「止血」「禁止」など「止＝ストップ」の感覚が共有されている。画数も少ない(4画)。
  + 学習コスト等: 初出。以後、停止・中止系の語根で再利用可能。

1. ĉes / 止 /
   * 選定理由: 「止」は「やむ」「やめる」というニュアンスにも通じ、すでにhalt(止まる)と同一漢字で対応可能。
   * 学習コスト等: 「halt」と同字にすることで、新たな漢字を増やさずに済む。
2. boben / 线轴 /
   * 選定理由: 中国語でコイル・スプール(線を巻き取るための軸)は「线轴」が一般的。「轴(軸)」単独では“スプール”よりも“軸”の意味が強いため、2文字熟語にした。
   * 学習コスト等: 「线」は他の「線・糸・ワイヤ」系語根と共有予定。「轴」は新出だが、軸系で今後再利用の可能性あり。
3. galon / 饰带 /
   * 選定理由: ガロン(服飾用のモール/飾り帯)は「装飾された帯状のもの」と解釈し、「飾り＝饰」「帯＝带」を合わせた「饰带」を提案。
   * 学習コスト等: 「饰(飾)」「带(帶)」はいずれも比較的初級～中級レベルの漢字。日本語話者にも「飾」「帯」で意味が推測しやすい。
4. pasament / 饰边 /
   * 選定理由: パスマントリー(縁飾り・レース・ブレード等)を「飾りの縁(辺)」と捉え、「饰边」を提案。
   * 学習コスト等: すでに「饰」を使用済みなので「边(邊)」のみ新出。日本語の「辺＝へん」と対応し意味も推測しやすい。
5. kabl / 缆 /
   * 選定理由: ケーブルは中国語で「电缆」と書くが、単字なら「缆」が“太いケーブル/ワイヤーロープ”を指す。
   * 学習コスト等: 新出だが、専門用語として比較的納得しやすい。
6. stri / 条 /
   * 選定理由: “筋・ストライプ”は中国語で「条纹」が一般的だが、より簡略に1文字を選ぶなら「条」(細長いものを数える量詞でもある)が近い。
   * 学習コスト等: 新出。「条」は日中で字形は同じ(日本語では法律条文などで馴染み)。
7. lini / 线 /
   * 選定理由: 直線・線分など、「线」は中国語で最も一般的な“線”を表す文字。
   * 学習コスト等: 今後「線」「糸」「ワイヤ」系をまとめる用途でも再利用。
8. strek / 画 /
   * 選定理由: “線を引く/一画(ひとカク)を書く”というニュアンスで「画」。中国語でも文字の筆画を指す時などに使う。
   * 学習コスト等: 新出だが、日中ともに「画＝描く」「画数」のイメージで通じやすい。
9. rel / 轨 /

* 選定理由: レール(軌条)は中国語で「轨道」などと書く。「轨」単字で“軌・レール”の意を持つ。
* 学習コスト等: 新出。日本語の「軌」に相当。

1. drat / 线 /

* 選定理由: 針金(ワイヤ)も太さ・材質の違いはあれど「线」と総称可能。
* 学習コスト等: 「lini」と同字で使い回し。学習漢字を増やさない。

1. kord / 弦 /

* 選定理由: 弦楽器などの“弦”は中国語でも「弦」。
* 学習コスト等: 新出。日本語でも「げん」と読めるため比較的わかりやすい。

1. faden / 线 /

* 選定理由: 糸(糸状のもの)も「线」と表現可能。すでに用いている漢字を再利用し学習コストを抑える。
* 学習コスト等: 「lini/drat」と同字。

1. ŝnur / 绳 /

* 選定理由: 綱・ロープは中国語で「绳(繩)」。
* 学習コスト等: 新出。日本語では「縄(なわ)」に近いが、形が似ているため推測しやすい。

1. turn / 转 /

* 選定理由: 回転・方向転換を表す最も一般的な簡体字。「转(轉)」は日中で“回す/転がす”をイメージしやすい。
* 学習コスト等: 新出。今後「回転」系語根での流用を見込む。

1. renvers / 倒 /

* 選定理由: 転覆する、ひっくり返す、倒す、などに「倒」を充てる。中国語でも「倒下」「打倒」「翻倒」など“ひっくり返す”ニュアンスが明確。
* 学習コスト等: 新出。日本語でも「倒立」「転倒」などで馴染みがある。

1. klin / 倾 /

* 選定理由: 「傾く(かたむく)」に相当する簡体字が「倾」。日中で“斜めになる/傾ける”の感覚を共有しやすい。
* 学習コスト等: 新出(日本語では「傾」)。やや画数多め(10画)だが意味は掴みやすい。

1. fleks / 曲 /

* 選定理由: “曲げる/曲がる” の基本的な字として「曲」を採用(中国語では“弯”“屈”なども候補だが画数や日中双方の認知度を考慮)。
* 学習コスト等: 新出。日本語の「曲がる」と同根でわかりやすい。

1. volv / 卷 /

* 選定理由: “巻く/巻き上げる/包む”などを示す単字として「卷」(繁体は「捲」、日本語の「巻」に近い)。
* 学習コスト等: 新出。日本語話者にも「巻」の簡体形と認識しやすい。

1. fald / 折 /

* 選定理由: “折り畳む/折る”を表す漢字として「折」が最も直接的。
* 学習コスト等: 新出。日本語でも「折る」と同じ字形。

1. cirkul / 回 /

* 選定理由: “循環”のイメージを1文字で表すには「回」(めぐる、回る)が簡潔。日中双方で“ぐるりと回る”ニュアンスを共有。
* 学習コスト等: 新出。画数(6画)も比較的少ない。

1. rivolu / 转 /

* 選定理由: “回転/公転/革命(＝revolution)”など「回る・転じる」の意。すでに「turn」で使った「转」を再利用。
* 学習コスト等: 「turn」と同字により学習コスト削減。

1. rul / 转 /

* 選定理由: “転がす/回転する”も「转」で対応可能(“roll”のニュアンス)。
* 学習コスト等: 「turn」「rivolu」と同字。

1. rul## / 转 /

* 選定理由: 上記「rul」と同義語根なので同じ漢字を継続使用。
* 学習コスト等: 同字により追加学習不要。

1. rad / 轮 /

* 選定理由: 車輪・ホイールは中国語で「车轮」、単字なら「轮」。日本語の「輪」と同系で“車輪”を連想しやすい。
* 学習コスト等: 新出。だが「輪」の簡体形だと把握しやすい。

ring

* + 提案漢字: 环
  + 選定理由:
    - 「環」の簡体字で、指輪・輪・円環など「リング」を連想しやすい。
    - 「圈」より画数が少なく、日中双方で意味を捉えやすい。
  + 学習コストの考察:
    - 新出の部首「⺁（厂）」+「𠃜」だが、画数自体は少ない(合計7画)ため負担は比較的軽い。

1. turb
   * 提案漢字(熟語): 陀螺
   * 選定理由:
     + 中国語で「こま」を意味する一般的な表現。単独1文字で「こま」を表す簡体字は存在しないため熟語を採用。
     + 「陀」や「螺」のどちらか単独では「こま」の意味を持たない。
   * 学習コストの考察:
     + やや画数が多い(「陀」7画+「螺」15画)が、他に適切な1文字がないため熟語割当を選択。
2. ŝiling
   * 提案漢字(熟語): 先令
   * 選定理由:
     + 中国語で「シリング」を指す代表的表記。単独1文字では一般的でないため2文字熟語とする。
   * 学習コストの考察:
     + 「先」(6画)・「令」(5画) と比較的少画数かつ初学者にも覚えやすい組み合わせ。
3. dekliv
   * 提案漢字: 坡
   * 選定理由:
     + 「斜面・坂・スロープ」の意味を最も端的に表す簡体字。「斜」だと“傾斜”全般のニュアンスが強いが、「坡」は“傾斜地・坂”を指すのに適切。
   * 学習コストの考察:
     + 「土」偏と「皮」の組み合わせ(8画)。漢字としては比較的覚えやすい部類。
4. krut
   * 提案漢字: 陡
   * 選定理由:
     + 「切り立った」「急峻な」「険しい」という意味をもっとも直接的に表す単字。
     + 「险」も“険しい”を表すが「危険」のニュアンスが強く、かつ画数がやや多い。
   * 学習コストの考察:
     + 「阝（左側の“こざとへん”）」+「豆」の組み合わせで6画と比較的少なく、習得しやすい。
5. oblikv
   * 提案漢字: 斜
   * 選定理由:
     + 「斜め」「傾斜」「斜線」を表す代表的な単字。「倾」でも近い意味を表せるが、「斜」は日本語圏にも馴染みがある。
   * 学習コストの考察:
     + 全体で11画とやや多めだが、「斜め」という意味を一文字で把握しやすい利点あり。
6. kontur
   * 提案漢字(熟語): 轮廓
   * 選定理由:
     + 中国語で「輪郭・アウトライン」を表す常用の熟語。1文字では対応が難しく、やむなく2文字。
   * 学習コストの考察:
     + 「轮」(8画) + 「廓」(13画)でやや画数は多い。だが「輪郭」としては中国語圏で通じやすく、日本語圏でも「輪廓(廓)」のイメージを想起しやすい。
7. kurb
   * 提案漢字: 弯
   * 選定理由:
     + 「曲がっている」「湾曲した」という意味を表す簡体字。「曲线」という熟語もあるが、名詞「カーブ」を一文字で示すなら「弯」(動詞・形容詞的用法も含む)が最短。
   * 学習コストの考察:
     + 8画で比較的覚えやすい。日本語で「弯」は常用ではないが、形から「湾曲」と結びつけられる可能性あり。
8. ark
   * 提案漢字: 弧
   * 選定理由:
     + 「アーク」「弧」「弓形」を示す最も代表的な簡体字。
     + 「拱」も“アーチ”の意味はあるが、形としての「弧」を示すなら「弧」が直接的。
   * 学習コストの考察:
     + 9画。弓形を示す部首「弓」+「瓜」の組み合わせで比較的わかりやすい。
9. konkav

* 提案漢字: 凹
* 選定理由:
  + 「へこんだ」「くぼんだ」という「凹（ concave ）」を直接示す常用漢字。日中双方で“凹＝へこみ”と理解されやすい。
* 学習コストの考察:
  + 5画と少なく、単純な形で覚えやすい。

1. fald##

* 提案漢字: 折
* 選定理由:
  + 「折り目」「折りたたむ」「折る」など、「fold」に対応できる最も基本的な単字。
  + 厳密には「折」は「割る・折る」意味も含むが、「折り畳む」の感覚としても広く使われる。
* 学習コストの考察:
  + 7画で比較的簡単。日本語でも「折り紙」の「折」として馴染みあり。

1. pec

* 提案漢字: 片
* 選定理由:
  + 「一片」「かけら」「切れ端」などを表す簡体字として最適。
* 学習コストの考察:
  + 4画という少ない画数で“ピース・スライス”のニュアンスがつかみやすい。

1. blok

* 提案漢字: 块
* 選定理由:
  + 「塊」「ブロック」を表す最適な簡体字(「塊」の簡体形)。
  + 「片」と区別し、大きめのかたまりという印象が伝わりやすい。
* 学習コストの考察:
  + 7画。すでに出た「土」+「鬼(简体は“鬼”の一部変形)」構造だが、初学習者は「块」全体で覚えるほうが早いかもしれない。

1. split

* 提案漢字: 裂
* 選定理由:
  + 「割る・裂く」という動作や結果(裂片、破片)をイメージしやすい単字。
  + 本来「splinter（裂けた小片）」を強調するなら「裂片」「碎片」など2字も考えられるが、ここではできるだけ1文字対応。
* 学習コストの考察:
  + 12画でやや多いが、「衣」偏+「列」の組み合わせが分かれば案外理解しやすい。

1. fragment

* 提案漢字(熟語): 碎片
* 選定理由:
  + 「断片」「かけら」を表す代表的な2字熟語(「碎」＝砕ける/こなごな、「片」＝断片)。
  + 1文字では「碎」「片」だけではやや意味が狭くなるため、2文字で「fragment」を明確化。
* 学習コストの考察:
  + 「碎」(9画) + 「片」(4画)で合計13画。多少画数はあるが、漢語としては標準的で分かりやすい。

1. stump

* 提案漢字: 桩
* 選定理由:
  + 「树桩(切り株)」の後半にあたる「桩」。単独でも「杭/木の切り株/柱状のもの」の意味がある。
  + 本来「树桩」が最も正確だが、1文字を優先するため「桩」を採用。
* 学習コストの考察:
  + 10画。「木」偏は学習済み漢字とも組み合わせが多く、使い回しやすい。

1. trunk

* 提案漢字: 干
* 選定理由:
  + 簡体字では「幹」は「干」に統合されることが多く、「树干(幹)」の形でも用いられる。
  + ただし「干」は「乾く/する」など多義だが、1文字対応としてはこれが最短。
* 学習コストの考察:
  + 3画と非常に画数が少ないが、多義ゆえに混乱が生じる可能性はある。文脈で樹木の「幹」を示す。

1. branĉ

* 提案漢字: 枝
* 選定理由:
  + 「枝(えだ)」「分かれた枝」を直接表す最も標準的な単字。
* 学習コストの考察:
  + 8画。「木」偏でわかりやすく、初学者にも学習しやすい。

1. verg

* 提案漢字: 杆
* 選定理由:
  + 細い棒・竿・枝状のものを表す漢字で、比較的画数が少ない。
  + 「棍」は“棒(こん棒)”寄り、「条」は“細長いもの(紐・路線)”の意味合いが強い。「杆」が“棒/細枝”に近いニュアンス。
* 学習コストの考察:
  + 8画。「木」偏の再利用で、他の樹木関連漢字との関連をつかみやすい。

1. foli

* 提案漢字: 叶
* 選定理由:
  + 簡体字の「葉」。中国語では「叶」が「葉っぱ」の意味を持つ(ほかに“協調・合う”の意味もある)。
* 学習コストの考察:
  + 5画。日本語「葉」に比べ画数が大幅に少なく学習しやすい。ただし多義なので注意。

1. lob

* 提案漢字: 叶
* 選定理由:
  + 身体や植物などの「葉状の部分＝lobe」を表す明確な1字は存在しない。
  + すでに foli に「叶」を割り当てているが、本プロジェクトでは「同じ漢字の使い回し」を認めているため再利用。
* 学習コストの考察:
  + すでにfoli向けに出現済みなので、新たな学習コストは増えない。

1. riĉ

* 提案漢字: 富
* 選定理由:
  + 「金持ち」「豊かな」という意味を直接示す最も代表的な単字。
* 学習コストの考察:
  + 12画とやや多いが、日中ともに“富＝豊か”のイメージを連想しやすい。

1. abund

* 提案漢字: 丰
* 選定理由:
  + 「豊富」「たっぷり」「盛ん」を表す簡体字(「豊」の簡体形)。
  + 2文字の「丰富」でも良いが、できるだけ1文字で割り当てたいため「丰」を採用。
* 学習コストの考察:
  + 4画と非常に少なく、「富(riĉ)」とセットで学ぶと “豊かさ”を表す漢字として住み分けができる。

1. sat

* 提案漢字: 饱
* 選定理由:
  + 「満腹」「十分に満たされた」などを示す簡体字(「飽」の簡体形)。
* 学習コストの考察:
  + 8画。「吃」(食へん)に関連する意味を持つ漢字との一貫性があり、覚えやすい。

1. kontent

* 提案漢字(熟語): 满足
* 選定理由:
  + 「満足」「満たされる」という意味を表す日常的な2文字熟語。
  + 1文字で「満」や「足」だけでは「content」の意味を十分に伝えにくい。
* 学習コストの考察:
  + 「满」(7画) + 「足」(7画)で計14画。2字だが、それぞれ日常的に使われるため比較的習得しやすい。

### 1) sufiĉ

提案: 足  
理由:

* 「足」は日本語では「足りる・十分である」という意味合いを持ち、中国語でも「满足」「足够」など「十分」「満ちる」のニュアンスに近い。
* 画数は7画で比較的簡単。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。日本語でも基礎的な漢字の1つなので学習コストは低め。

### 2) perfekt

提案: 完  
理由:

* 中国語で「完成/完美」の「完」。日本語でも「完了」「完全」のイメージがあり、「完璧」にも通じる。
* 画数(7画)もそこまで多くない。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。日中ともに「完全」「完了」の連想が容易。

### 3) plen

提案: 满  
理由:

* 中国語「满」は「いっぱい」「満ちる」。日本語の「満」に対応し、意味がつかみやすい。
* 「完」や「全」とは少しニュアンスを変え、「(中身が)満たされている」感を示したいときに有用。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(日本語の「満」の簡体字)。画数やや多め(12～13画)だが、使用頻度が高く認知されやすい。

### 4) komplet

提案: 全  
理由:

* 中国語で「完全」「全体」の「全」。日本語でも「全部」「全体」の連想が容易。
* 「完」(perfekt)との混同を避けつつ、こちらは「全的」「全き」という“全体性”を重視。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。画数(6画)は比較的少ない。

### 5) ŝarg

提案: 充  
理由:

* 中国語の「充电」(バッテリーを充電する)、「充满」(満たす)など、“中に注ぎ込む・装填する”イメージに近い。
* 日本語でも「充分」「充填」などに通じ、意味を連想しやすい。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(6画)。日中いずれでも使用頻度は高め。

### 6) ŝarĝ

提案: 担  
理由:

* 中国語「担子(荷物・担ぐもの)」「负担(負担)」など、荷物や負荷を背負うイメージ。
* 日本語でも「担(かつ)ぐ」「担う」で「荷を背負う」感覚を共有できる。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(8画)。負荷・荷重・責任などの連想がしやすい。

### 7) plus

提案: 加  
理由:

* 中国語で「加法」＝加算を表す最も一般的な単字。日本語でも「加える」という意味でプラスと対応。
* 画数(5画)も少なく、覚えやすい。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。算数用語としても使いやすい。

### 8) suplement

提案: 补  
理由:

* 中国語で「补」(補う)。日本語の「補」に対応。増補/補足するイメージに近い。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(7画)。よく使われる語彙(补充/补足)なので学習コストは比較的低め。

### 9) komplement

提案: 补  
理由:

* 文法用語「补语」(補語)に見られるように、補うイメージ。
* 「suplement」と同じく「補う」ニュアンスが強いので、学習コスト削減のため同字にまとめる。  
  既出・学習コスト:
* すでに (8) で採用した「补」を再利用。区別はサブスクリプト等で対応可能。

### 10) rikolt

提案: 收  
理由:

* 中国語「收割」(収穫)に由来。「収める/刈り取る」の感覚を持つ。
* 日本語でも「収穫」として連想しやすい(簡体字は「收」)。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(6画)だが「収(おさ)める」のイメージで分かりやすい。

### 11) kolekt

提案: 收  
理由:

* 中国語「收集」(収集)のように、「集める」も広く“收”で表現できる場面がある。
* 「rikolt(収穫)」と重複割当することで漢字数を削減。  
  既出・学習コスト:
* (10)と同じく「收」を再利用。

### 12) abstrakt

提案: 抽象 (2文字)  
理由:

* 中国語の定訳「抽象」、日本語でも「抽象」。1文字では表しにくい概念。
* 「抽」単独では「引き出す」、 「象」単独では「像・象(かたち)」であり、2文字セットで「抽象＝abstract」。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字2つ(「抽」「象」)。文芸・哲学・学術など幅広く使う用語なので、2文字表記が妥当。

### 13) resum

提案: 要  
理由:

* 中国語「主要」「要点」、日本語「要約」「要点」から、「要」が「大事な点・まとめ」のニュアンスを担う。
* 1文字で「要(よう)」は“要旨”や“要約”を連想しやすい。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(9画)。よく見かける基本的要素なので学習しやすい。

### 14) afiks

提案: 缀  
理由:

* 中国語「词缀」(接辞)で用いられる「缀」。
* 1文字で「付属要素をつなぎ足す」イメージ。“affix”として適切。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字(10画)。やや画数多めだが、文法用語として正確。

### 15) apozici

提案: 同位 (2文字)  
理由:

* 中国語で「同位语」(同格語)の略。日本語「同格」に相当。
* 1文字だけでは表現しづらいので2文字熟語で対応。  
  既出・学習コスト:
* 「同」は新規(6画)、「位」も新規(7画)。ただし文法専用用語のため妥当と判断。

### 16) konjugaci

提案: 变位 (2文字)  
理由:

* 中国語「动词变位」(動詞の変化)の略。日本語で言う「活用」に近い。
* 「变」(変化) + 「位」(位置・形)で「語形変化」のニュアンス。  
  既出・学習コスト:
* 「位」は(15)ですでに登場。「变」は新規(8画)。

### 17) konjunkci

提案: 连词 (2文字)  
理由:

* 中国語で接続詞を「连词」と呼ぶのが一般的。
* 日本語の「連詞」とほぼ同形でイメージしやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「连」(7画)と「词」(8画)はいずれも新規。文法用語なので2文字必要。

### 18) asimil

提案: 同化 (2文字)  
理由:

* 中国語「同化」、日本語「同化」。同じ用語で共有しやすい。
* 1文字化が難しく、「同化」が最も直接的。  
  既出・学習コスト:
* 「同」は(15)で既出、「化」(4画)は新規。画数は少なく学びやすい。

### 19) aneks

提案: 合并 (2文字)  
理由:

* 中国語で「合并」は「併合・合併」の意。日本語の「併合」に相当する。
* 「并」単独だと“併せる/しかも”など多義なので、2文字でより明確に。  
  既出・学習コスト:
* 「合」は(19)以降で既出になるケースが多い想定(下記参照)、「并」(6画)は新規。

### 20) feder

提案: 联邦 (2文字)  
理由:

* 中国語の「联邦」= 連邦/federation。日本語でも「連邦」として馴染みがある。
* 「联」1文字だと“連合/連絡”など広義になりすぎるため、2文字のほうが明確。  
  既出・学習コスト:
* 「联」(7画)・「邦」(6画)ともに新規。

### 21) sintez

提案: 合成 (2文字)  
理由:

* 中国語で「合成」、日本語も「合成」。synthesisを短く端的に表す。
* すでに「合」は(19)で出現しているため、追加は「成」のみ。  
  既出・学習コスト:
* 「合」は再利用、「成」(6画)は新規。

### 22) miks

提案: 混合 (2文字)  
理由:

* 中国語で「混合」、日本語でも「混合」。
* 1文字「混」だけだと「混乱・混雑」の意味も大きいので、あえて「合」を付けて明確に「まぜ合わせる」ニュアンスに。  
  既出・学習コスト:
* 「合」は既出、「混」(11画)は新規。

### 23) kombin

提案: 组合 (2文字)  
理由:

* 中国語「组合」= 組み合わせ。日本語「組合せ」とほぼ同形で分かりやすい。
* 「组」は「組」の簡体。既に使った「合」と合わせて“combine”のニュアンスを直感しやすい。  
  既出・学習コスト:
* 「合」は既出、「组」(8画)は新規。

### 24) sum

提案: 和  
理由:

* 日本語では数学で「和」と言えば足し算の結果(サム)を指す。中国語では「和」は多義(「と」など)だが、数学文脈では「a+b的和」。
* 画数(8画)そこまで多くなく、日中で“加算結果”を連想させやすい。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。

### 25) op

提案: 团  
理由:

* 中国語「团体」＝集団、まとまりを成す集団。日本語の「団」に相当し、“集合・集まり”のイメージに近い。
* 画数(6画)で比較的シンプル。  
  既出・学習コスト:
* 新規漢字。日本語でも「団(ダン)」との対応が取りやすい。